

平成 9 年
商業統計調査結果報告

広 島 県

目 次

調査結果の概要

第1 商業	1
1 概況	1
2 法人・個人別	9
3 商店の開設年	11
4 単独店，本店，支店の状況	12
第2 卸売業	13
1 概要	13
2 商品の仕入先	18
3 商品の販売先	18
4 従業者規模別	19
5 経営規模及び販売効率	20
第3 小売業	22
1 概要	22
2 商品手持額，商品回転率	26
3 売場面積	27
4 年間商品販売額の仕入先別割合	28
5 従業者規模別の商店数など	29
6 売場面積規模別の商店数など	30
7 経営規模及び販売効率	32
8 セルフサービス店	33
9 開店・閉店時間，営業時間	34
10 人口と小売業	35
11 購買力の状況	37
第4 大規模小売店舗の小売業	40
1 概要	40
2 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業	41
3 業種別の概要	42
4 販売効率	44

第1 商業

1 概況

(1) 概要

平成9年6月1日現在で実施した商業統計調査の結果、本県の商店数は44,015店、従業者数は282,192人、年間商品販売額は14兆4,321億円となっている。

前回調査(平成6年7月)と比べると、商店数で3,599店(7.6%)減、従業者数で18,900人(6.3%)減、年間商品販売額で4,185億円(2.8%)減となっている。[表1, 図1, 2]

(2) 商店数

商店数は、平成6年調査でマイナス(7.1%減)に転じたのに引き続き、今回7.6%減となっている。[図2]

卸売・小売業別の割合は、卸売業23.0%、小売業77.0%であり、小売業の割合が高い。

[表1]

従業者数規模別にみると、従業者数9人以下の商店数は全体の85.6%であるが、従業者数では42.0%、年間商品販売額では27.4%であり、従業者数規模の小さな商店では、商店数に占める割合は高いが、従業者数及び年間商品販売額に占める割合では低くなっている。

[表2]

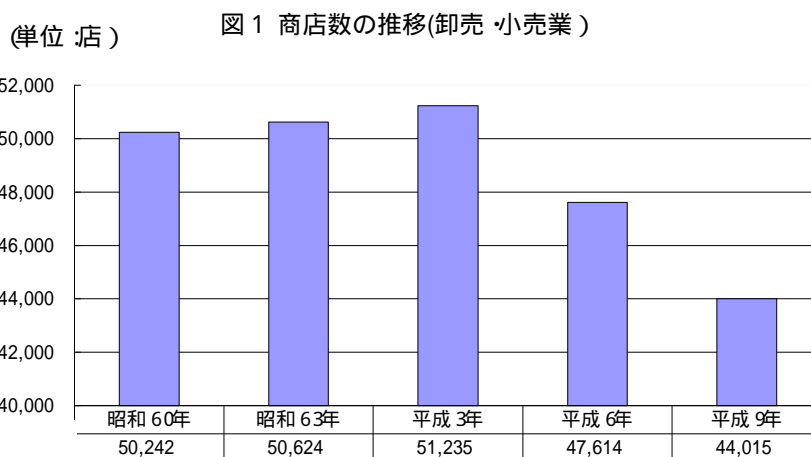


図2 増加率の推移(卸売・小売業)

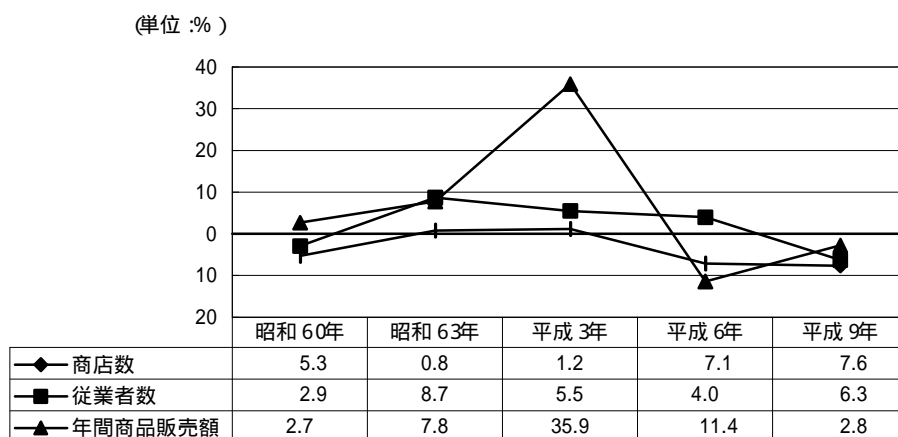


表1 総括表

区 分		昭和60年				昭和63年				実数
		実数	構成比	増 加 率		実数	構成比	増 加 率		
				60/ 57	年平均			63/ 60	年平均	
商 店 数	総数	50,242	100.0	5.3	1.8	50,624	100.0	0.8	0.3	51,2
	卸売業	10,847	21.6	6.3	2.1	11,536	22.8	6.4	2.1	12,5 (12,1
	小売業	39,395	78.4	5.1	1.7	39,088	77.2	0.8	0.3	38,6 (39,0
従 業 者 数	総数	252,324	100.0	2.9	1.0	274,382	100.0	8.7	2.8	289,5
	卸売業	98,989	39.2	6.2	2.1	108,509	39.5	9.6	3.1	123,1 (121,2
	小売業	153,335	60.8	0.6	0.2	165,873	60.5	8.2	2.7	166,4 (168,2
年間商品販売額	総数	114,390	100.0	2.7	0.9	123,363	100.0	7.8	2.5	167,6
	卸売業	90,263	78.9	1.4	0.5	97,077	78.7	7.5	2.5	134,2 (133,8
	小売業	24,126	21.1	7.7	2.5	26,286	21.3	9.0	2.9	33,4 (33,8

注) 平成3年の()の数値は,平成6年調査と対応可能となるよう再集計した数値。

注) 年平均増加率は,幾何平均したものである。

表2 従業者規模別の商店数,従業者数,年間商品販売額(卸売・小売業)

(単位:店,人,百万円,%)

区分	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率
総数	44,015	100.0	7.6	282,192	100.0	6.3	14,432,120	100.0	2.8
1~2人	18,955	43.1	8.7	30,617	10.8	9.2	485,242	3.4	4.8
3~4人	10,700	24.3	7.3	36,443	12.9	7.3	1,083,702	7.5	0.4
5~9人	8,011	18.2	6.5	51,621	18.3	6.0	2,375,738	16.5	1.8
10~19人	3,863	8.8	6.5	51,652	18.3	5.3	2,724,823	18.9	4.0
20~29人	1,136	2.6	8.3	26,765	9.5	8.7	1,311,261	9.1	14.3
30~49人	772	1.8	1.0	29,105	10.3	1.5	2,191,019	15.2	48.7
50~99人	430	1.0	0.0	28,754	10.2	0.4	2,295,261	15.9	26.0
100人以上	148	0.3	14.0	27,235	9.7	14.2	1,965,073	13.6	3.4

(表1 つづき)

(単位:店,人,億円,%)

平成3年				平成6年				平成9年			
実数	構成比	増加率		実数	構成比	増加率		実数	構成比	増加率	
		3/63	年平均			6/3	年平均			9/6	年平均
51,235	100.0	1.2	0.4	47,614	100.0	7.1	2.4	44,015	100.0	7.6	2.6
12,559	24.5	8.9	2.9	11,131	23.4	11.4	3.9	10,123	23.0	9.1	3.1
(12,156)	(23.7)	(5.4)	(1.8)								
38,676	75.5	1.1	0.4	36,483	76.6	5.7	1.9	33,892	77.0	7.1	2.4
(39,079)	(76.3)	(0.0)	(0.0)								
289,533	100.0	5.5	1.8	301,092	100.0	4.0	1.3	282,192	100.0	6.3	2.1
123,133	42.5	13.5	4.3	119,968	39.8	2.6	0.9	105,418	37.4	12.1	4.2
(121,235)	(41.9)	(11.7)	(3.8)								
166,400	57.5	0.3	0.1	181,124	60.2	8.8	2.9	176,774	62.6	2.4	0.8
(168,298)	(58.1)	(1.5)	(0.5)								
167,683	100.0	35.9	10.8	148,506	100.0	11.4	4.0	144,321	100.0	2.8	0.9
134,263	80.1	38.3	11.4	113,054	76.1	15.8	5.6	108,833	75.4	3.7	1.3
(133,836)	(79.8)	(37.9)	(11.3)								
33,420	19.9	27.1	8.3	35,451	23.9	6.1	2.0	35,488	24.6	0.1	0.0
(33,847)	(20.2)	(28.8)	(8.8)								

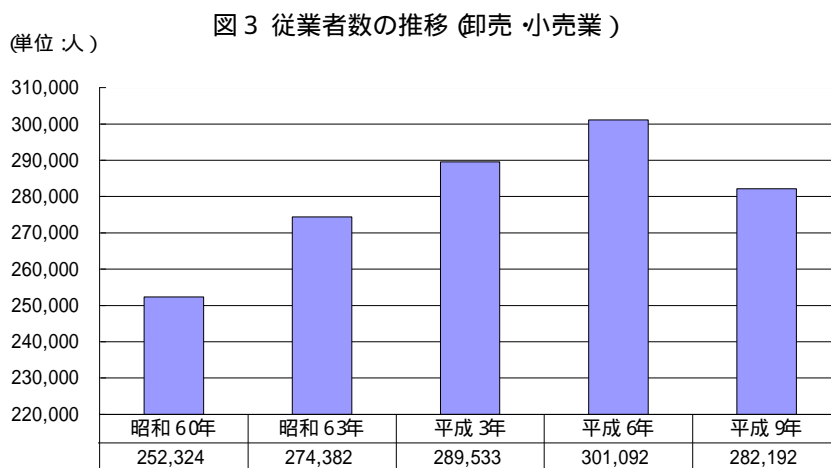
(2) 従業者数

従業者数は、282,192 人であり、前回調査に比べると 18,900 人（6.3%）減となっている。

これまでの推移をみると、昭和 60 年の 2.9% 減を除き、昭和 27 年の調査開始以降増加していたが、今回は 6.3% 減とマイナスに転じている。[図 2，図 3]

卸売・小売業別の割合は、卸売業 37.4%，小売業 62.6% であり、小売業の割合が高くなっている。[表 1]

卸売・小売業別にみると、卸売業では従業者数 105,418 人で、14,550 人（12.1%）減、小売業では従業者数 176,774 人で、4,350 人（2.4%）減となっている。[表 1]

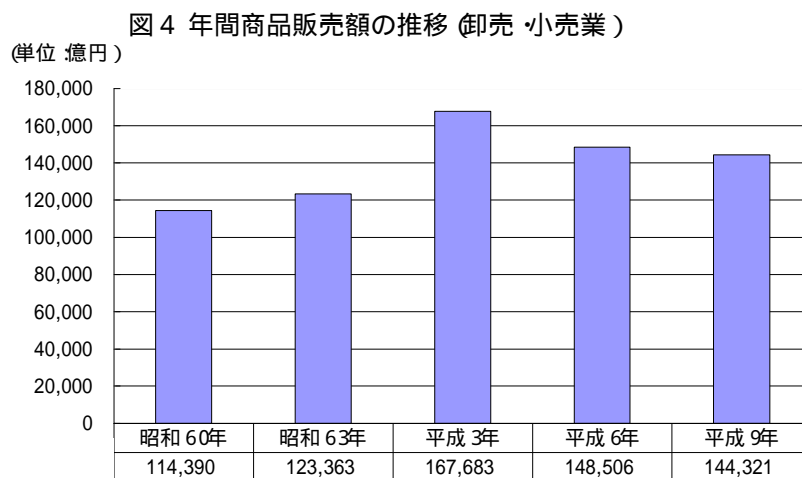


(3) 年間商品販売額

年間商品販売額の総額は、14 兆 4,321 億円で前回調査に比べ 4,185 億円（2.8%）減となっている。これまでの推移をみると、調査開始以降増加していたが、平成 6 年にマイナス（11.4% 減）となり、減少幅は小さくなっているものの引き続き減少している。[図 2，4]

卸売・小売業別には、卸売業 75.4%，小売業 24.6% であり、卸売業の割合が高くなっている。[表 1]

卸売・小売業別の割合を前回調査と比べると、商店数、従業者数及び年間商品販売額とも小売業の占める割合が高くなっている。[表 1]



(4)市郡別

商店数

商店数では，市部が34,950店（構成比79.4%），郡部が9,065店（構成比20.6%）であり，市部のなかでも広島市（構成比36.8%）及び福山市（構成比13.8%）の2市が大きなウエートを占めている。

前回調査と比べると，東広島市2.3%増，大竹市1.1%増と2市では増加しているが，ほかの11市では減少している。[表3]

従業者数

従業者数では，広島市が47.4%と5割近くを占め，次いで福山市の14.1%となっており，市部で県全体の85.5%を占めている。

前回調査と比べると，大竹市15.8%増，東広島市11.5%増など5市で増加しているが，広島市10.9%減，三原市10.1%減など8市では減少している。[表5]

年間商品販売額

市郡別にみると，市部が93.5%，郡部が6.5%であり，市部の占める割合が極めて高く，市部のなかでも広島市69.1%，福山市10.7%と2市で県全体の約8割を占めている。

前回調査と比べると，三次市（構成比1.2%）20.0%増，東広島市（構成比1.8%）12.8%増など6市で増加しているが，三原市（構成比1.6%）8.0%減，福山市（構成比10.7%）6.2%減など7市では減少している。

卸売・小売業別に市部に占める割合をみると，卸売業では96.4%，小売業では84.5%を市部が占めている。[表7]

(5)広域市町村圏別

商店数

江能圏域（構成比1.2%）9.9%減，呉圏域（構成比10.4%）9.0%減，広島圏域（構成比44.0%）8.8%減，竹原圏域（構成比2.5%）8.5%減と8パーセント以上の減少などすべての圏域で減少している。[表4，図5]

従業者数

従業者数では，賀茂圏域（構成比3.8%）9.6%増，芸北圏域（構成比1.6%）1.1%増と2圏で増加している。

一方，広島圏域（構成比54.1%）9.4%減など8圏域で減少している。[表6，図6]

年間商品販売額

年間商品販売額では，備北圏域（構成比1.8%）12.9%増など5圏域で増加している一方，福山・府中圏域（構成比13.0%）5.1%減，尾道圏域（構成比2.9%）4.6%減，三原圏域（構成比2.0%）3.6%減など5圏域で減少している。[表8，図7]

表3 市別商店数

(単位:店,%)

区分	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対6年増加率	実数	構成比	対6年増加率	実数	構成比	対6年増加率
総数	44,015	100.0	7.6	10,123	100.0	9.1	33,892	100.0	7.1
市計	34,950	79.4	8.1	9,236	91.2	9.3	25,714	75.9	7.6
町村計	9,065	20.6	5.5	887	8.8	6.6	8,178	24.1	5.4
広島市	16,215	36.8	9.8	5,342	52.8	9.6	10,873	32.1	9.9
中区	4,675	10.6	13.4	1,892	18.7	12.2	2,783	8.2	14.2
東区	1,118	2.5	7.1	330	3.3	4.1	788	2.3	8.3
南区	2,629	6.0	13.6	822	8.1	11.5	1,807	5.3	14.5
西区	3,143	7.1	9.1	1,465	14.5	6.6	1,678	5.0	11.1
安佐南区	1,709	3.9	5.8	362	3.6	8.8	1,347	4.0	4.9
安佐北区	1,255	2.9	3.2	173	1.7	8.0	1,082	3.2	2.3
安芸区	598	1.4	9.9	131	1.3	9.0	467	1.4	10.2
佐伯区	1,088	2.5	1.8	167	1.6	9.2	921	2.7	0.3
呉市	3,553	8.1	10.1	605	6.0	9.3	2,948	8.7	10.2
竹原市	637	1.4	9.3	82	0.8	18.0	555	1.6	7.8
三原市	1,294	2.9	10.2	224	2.2	16.4	1,070	3.2	8.8
尾道市	2,029	4.6	3.1	561	5.5	2.0	1,468	4.3	4.9
因島市	640	1.5	7.1	67	0.7	6.9	573	1.7	7.1
福山市	6,084	13.8	7.6	1,600	15.8	11.7	4,484	13.2	6.1
府中市	807	1.8	4.5	147	1.5	3.9	660	1.9	4.6
三次市	827	1.9	3.9	158	1.6	4.8	669	2.0	3.7
庄原市	434	1.0	0.5	69	0.7	6.2	365	1.1	1.6
大竹市	574	1.3	1.1	75	0.7	17.6	499	1.5	4.6
東広島市	1,179	2.7	2.3	183	1.8	4.7	996	2.9	3.8
廿日市市	677	1.5	4.9	123	1.2	9.6	554	1.6	3.8

図5 広域市町村圏別商店数の増減率(卸売・小売業)

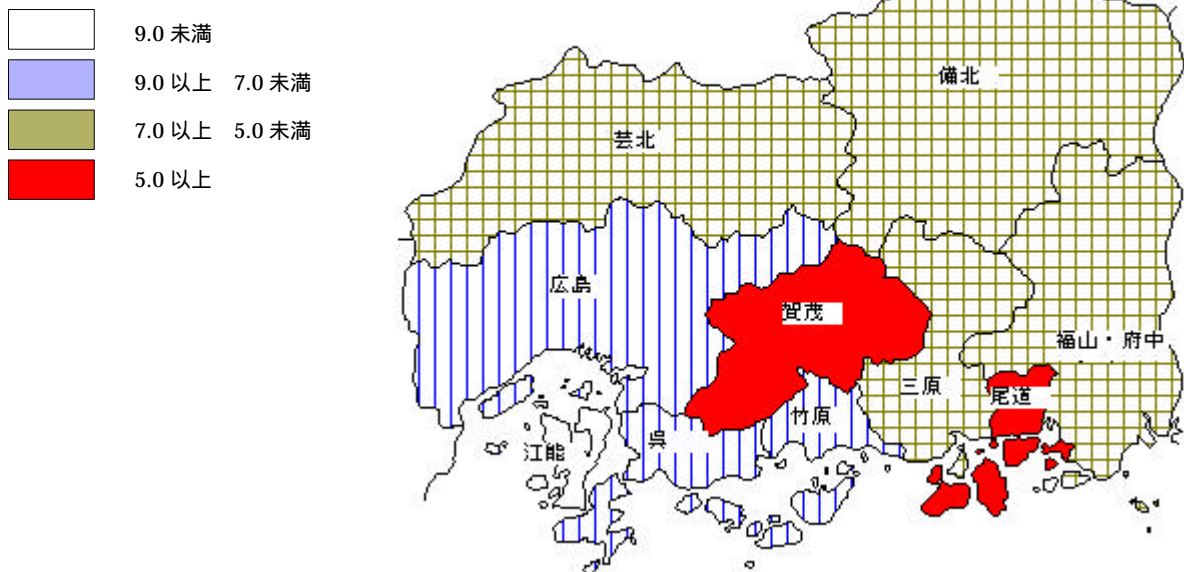


表4 広域市町村圏域別商店数

(単位:店,%)

圏域名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率
広島	19,372	44.0	8.8	5,764	56.9	9.6	13,608	40.2	8.4
呉	4,576	10.4	9.0	671	6.6	9.1	3,905	11.5	9.0
江能	549	1.2	9.9	39	0.4	18.2	510	1.5	11.5
賀茂	1,745	4.0	1.0	218	2.2	9.9	1,527	4.5	0.5
芸北	1,090	2.5	5.5	84	0.8	6.3	1,006	3.0	6.4
竹原	1,121	2.5	8.5	139	1.4	10.9	982	2.9	8.1
三原	1,903	4.3	6.7	280	2.8	11.9	1,623	4.8	5.7
尾道	3,102	7.0	4.8	684	6.8	0.7	2,418	7.1	5.9
福山・府中	8,426	19.1	6.8	1,965	19.4	11.1	6,461	19.1	5.3
備北	2,131	4.8	5.5	279	2.8	2.4	1,852	5.5	5.9

表5 市別従業者数

(単位:人,%)

市区町村名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対6年増加率	実数	構成比	対6年増加率	実数	構成比	対6年増加率
総数	282,192	100.0	6.3	105,418	100.0	12.1	176,774	100.0	2.4
市計	241,410	85.5	7.1	98,308	93.3	12.5	143,102	81.0	3.0
町村計	40,782	14.5	1.0	7,110	6.7	6.2	33,672	19.0	0.1
広島市	133,835	47.4	10.9	65,292	61.9	14.8	68,543	38.8	6.8
中区	42,980	15.2	16.1	24,102	22.9	20.3	18,878	10.7	10.2
東区	8,001	2.8	11.7	3,408	3.2	13.8	4,593	2.6	10.0
南区	17,007	6.0	15.4	8,400	8.0	13.9	8,607	4.9	16.7
西区	33,286	11.8	8.6	22,298	21.2	7.9	10,988	6.2	9.8
安佐南区	12,689	4.5	6.8	3,206	3.0	20.5	9,483	5.4	1.0
安佐北区	8,636	3.1	3.9	1,376	1.3	7.3	7,260	4.1	6.3
安芸区	3,872	1.4	7.9	1,203	1.1	16.2	2,669	1.5	3.7
佐伯区	7,364	2.6	1.9	1,299	1.2	14.3	6,065	3.4	6.1
呉市	18,674	6.6	5.2	4,736	4.5	8.8	13,938	7.9	3.9
竹原市	2,893	1.0	3.1	496	0.5	21.9	2,397	1.4	1.9
三原市	6,938	2.5	10.1	1,697	1.6	24.3	5,241	3.0	4.2
尾道市	10,523	3.7	5.1	4,593	4.4	2.7	5,930	3.4	6.9
因島市	2,292	0.8	5.9	366	0.3	9.9	1,926	1.1	5.1
福山市	39,793	14.1	2.2	15,361	14.6	6.8	24,432	13.8	0.9
府中市	3,994	1.4	0.3	1,042	1.0	5.4	2,952	1.7	2.4
三次市	4,583	1.6	2.6	1,241	1.2	9.1	3,342	1.9	0.1
庄原市	1,833	0.6	0.7	396	0.4	1.3	1,437	0.8	0.6
大竹市	2,836	1.0	15.8	469	0.4	6.6	2,367	1.3	21.6
東広島市	8,328	3.0	11.5	1,368	1.3	5.3	6,960	3.9	15.5
廿日市市	4,888	1.7	4.4	1,251	1.2	3.3	3,637	2.1	7.3

図6 広域市町村圏別従業者数の増減率（卸売・小売業）

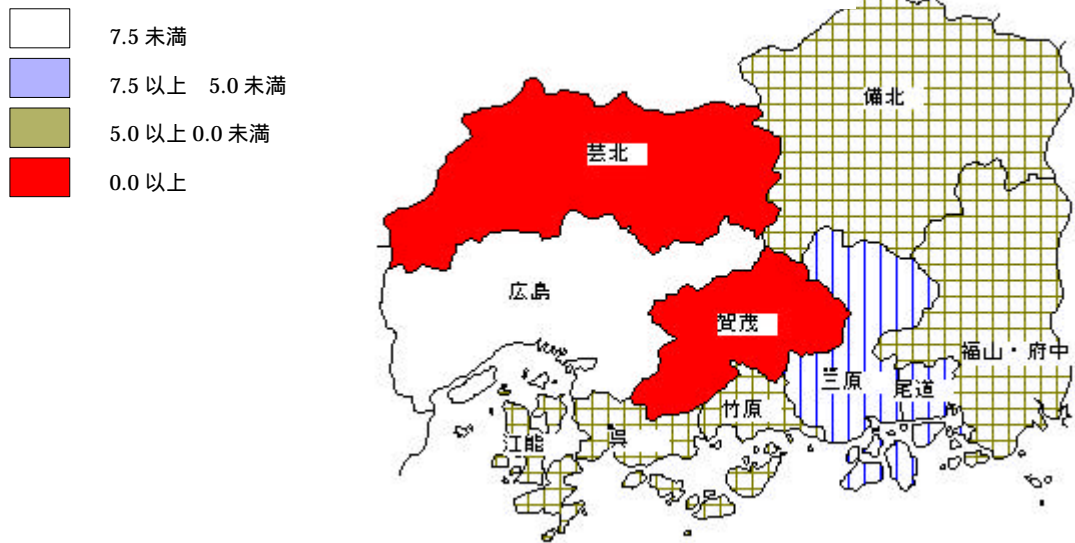


表6 広域市町村圏域別従業者数

(単位:人,%)

圏域名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率
広島	152,741	54.1	9.4	69,265	65.7	14.5	83,476	47.2	4.7
呉	21,926	7.8	3.9	5,107	4.8	7.2	16,819	9.5	2.8
江能	2,302	0.8	1.7	265	0.3	14.7	2,037	1.2	3.6
賀茂	10,826	3.8	9.6	1,539	1.5	9.6	9,287	5.3	13.6
芸北	4,427	1.6	1.1	438	0.4	0.5	3,989	2.3	1.3
竹原	4,729	1.7	1.9	861	0.8	13.2	3,868	2.2	1.0
三原	9,767	3.5	5.9	2,128	2.0	17.2	7,639	4.3	2.2
尾道	14,582	5.2	6.0	5,195	4.9	4.9	9,387	5.3	6.7
福山 府中	51,571	18.3	2.5	18,766	17.8	6.4	32,805	18.6	0.2
備北	9,321	3.3	1.2	1,854	1.8	6.3	7,467	4.2	0.2

表7 市別年間商品販売額

(単位:百万円,%)

市区町村名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対6年増加率	実数	構成比	対6年増加率	実数	構成比	対6年増加率
総数	14,432,120	100.0	2.8	10,883,328	100.0	3.7	3,548,792	100.0	0.1
市計	13,492,569	93.5	3.5	10,492,475	96.4	4.1	3,000,094	84.5	1.0
町村計	939,550	6.5	7.4	390,853	3.6	8.8	548,698	15.5	6.4
広島市	9,966,890	69.1	3.9	8,396,933	77.2	3.8	1,569,957	44.2	4.4
中区	5,688,985	39.4	1.8	5,119,865	47.0	2.8	569,120	16.0	6.1
東区	386,043	2.7	19.5	301,618	2.8	20.7	84,425	2.4	14.9
南区	925,903	6.4	34.7	766,854	7.0	37.9	159,049	4.5	12.7
西区	1,975,690	13.7	2.1	1,719,098	15.8	4.0	256,592	7.2	8.8
安佐南区	416,886	2.9	7.7	222,956	2.0	8.3	193,930	5.5	7.0
安佐北区	199,093	1.4	0.9	62,155	0.6	13.3	136,938	3.9	6.0
安芸区	152,188	1.1	2.9	106,683	1.0	1.9	45,505	1.3	5.1
佐伯区	222,102	1.5	9.8	97,704	0.9	11.0	124,398	3.5	8.9
呉市	497,868	3.4	2.1	248,940	2.3	6.2	248,929	7.0	2.4
竹原市	70,505	0.5	3.6	30,796	0.3	4.4	39,709	1.1	3.1
三原市	230,641	1.6	8.0	126,826	1.2	15.6	103,816	2.9	3.2
尾道市	344,383	2.4	4.1	243,757	2.2	4.3	100,626	2.8	3.5
因島市	40,582	0.3	6.0	12,692	0.1	11.7	27,889	0.8	3.1
福山市	1,538,550	10.7	6.2	1,031,896	9.5	9.8	506,654	14.3	2.3
府中市	105,173	0.7	4.6	49,135	0.5	12.8	56,038	1.6	3.9
三次市	173,618	1.2	20.0	100,062	0.9	31.0	73,556	2.1	7.7
庄原市	40,677	0.3	4.6	12,313	0.1	9.8	28,363	0.8	12.5
大竹市	57,225	0.4	6.0	25,108	0.2	7.8	32,117	0.9	4.6
東広島市	265,023	1.8	12.8	123,711	1.1	14.7	141,312	4.0	11.2
廿日市市	161,434	1.1	2.3	90,306	0.8	5.5	71,128	2.0	1.4

図7 広域市町村圏別年間商品販売額の増減率(卸売・小売業)

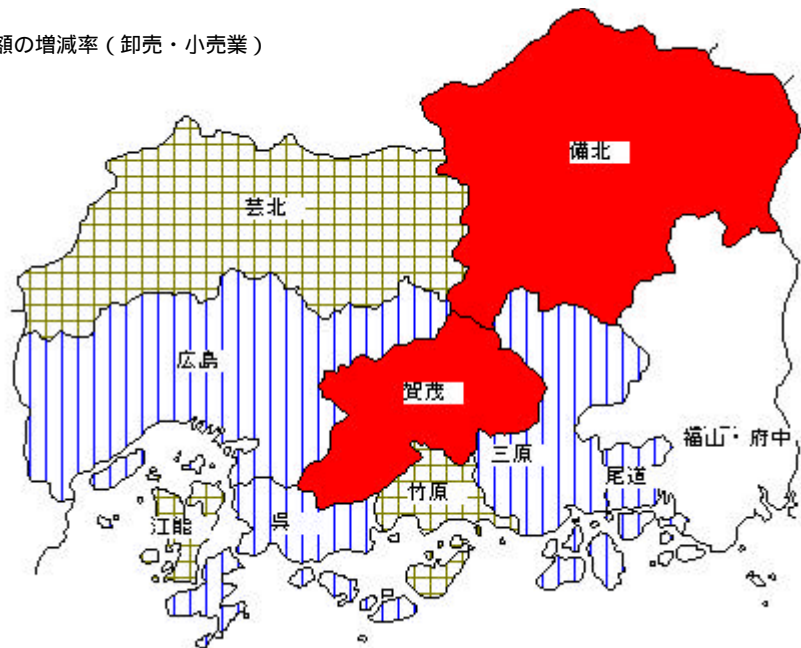
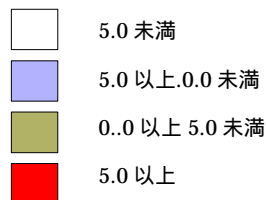


表8 広域市町村圏別年間商品販売額

(単位:百万円,%)

圏域名	総数			卸売業			小売業		
	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率
広島	10,520,817	72.9	3.2	8,690,977	79.9	3.2	1,829,841	51.6	3.2
呉	542,154	3.8	1.4	257,913	2.4	5.6	284,241	8.0	2.7
江能	35,699	0.2	0.5	6,712	0.1	9.9	28,987	0.8	1.5
賀茂	309,340	2.1	11.0	131,622	1.2	13.9	177,718	5.0	9.0
芸北	89,403	0.6	3.6	21,300	0.2	2.8	68,103	1.9	5.8
竹原	99,435	0.7	2.9	39,676	0.4	0.9	59,759	1.7	5.7
三原	291,517	2.0	3.6	144,075	1.3	10.2	147,442	4.2	3.8
尾道	415,853	2.9	4.6	263,989	2.4	4.8	151,865	4.3	4.1
福山 府中	1,871,526	13.0	5.1	1,209,418	11.1	9.8	662,108	18.7	4.8
備北	256,376	1.8	12.9	117,647	1.1	24.0	138,729	3.9	4.9

2 法人・個人別

法人・個人別の商店数は、法人商店が 23,287 店（構成比 52.9%）、個人商店が 20,728 店（構成比 47.1%）であり、法人商店の割合が個人商店の割合をやや上回っている。

法人商店は、従業者数 226,077 人（構成比 80.1%）、年間商品販売額 13 兆 8,975 億円（96.3%）であり、商店数に占める割合よりも、従業者数、年間商品販売額に占める割合がそれぞれ高くなっている。

法人商店をさらに経営組織別にみると、株式会社が、商店数 22,254 店（構成比 95.6%）、従業者数 217,825 人（構成比 96.3%）、年間商品販売額 13 兆 4,811 億円（構成比 97.0%）となっており、法人商店の大部分を占めている。

卸売・小売業別にみると、卸売業の法人商店は、商店数 8,513 店（構成比 84.1%）、従業者数 100,672 人（構成比 95.5%）、年間商品販売額 10 兆 8,053 億円（構成比 99.3%）であり、卸売業に占める法人商店の割合は小売業の割合に比べるとかなり上回っている。

小売業では、全商店数に占める個人商店の占める割合は 56.4% であり過半数を占めているが、従業者数及び年間商品販売額では、法人商店の占める割合が個人商店の占める割合を上回っており、従業者数 125,405 人（構成比 70.9%）、年間商品販売額 3 兆 920 億円（構成比 87.1%）となっている。[表 9]

商店 1 店当たりの年間商品販売額については、法人商店が 59,679 万円、個人商店が 2,579 万円で、法人商店が個人商店を著しく上回っている。[図 8]

商店 1 店当たりの年間商品販売額について、卸売・小売業別にみると、法人商店では卸売業 126,927 万円、小売業 20,930 万円、個人商店では卸売業 4,846 万円、小売業 2,388 万円であり、法人商店が上回っている。

従業者 1 人当たりの年間商品販売額では、法人商店が 6,147 万円、個人商店が 953 万円であり、法人商店が個人商店の 6.5 倍となっている。[図 9]

商店 1 店当たりの従業者数については、法人商店が 9.7 人、個人商店が 2.7 人であり、法人商店が個人商店の 3.6 倍となっている。[図 10]

図 8 卸売・小売業別の商店 1 店当たり年間商品販売額

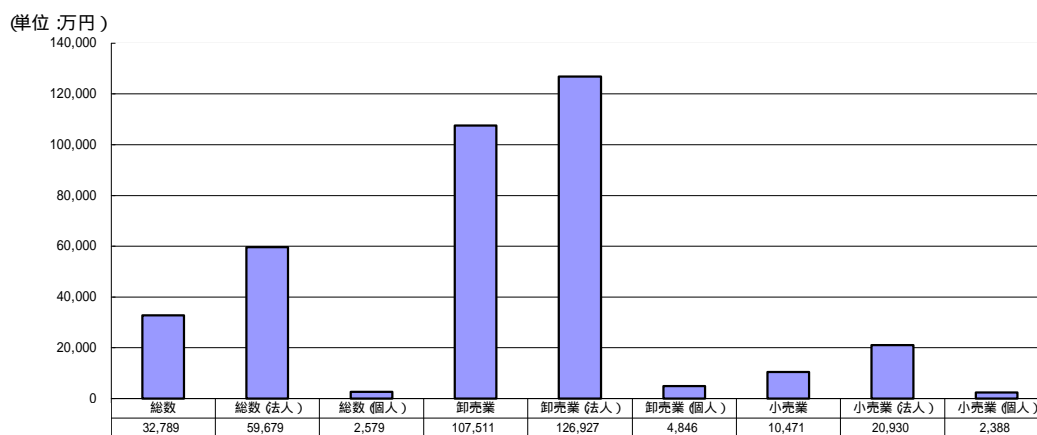


表9 法人・個人別の商店数、従業者数、年間商品販売額

区分	総数		法人		会社		農協		
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
総数	商店数	44,015	100.0	23,287	52.9	22,254	95.6	550	2.4
	従業者数	282,192	100.0	226,077	80.1	217,825	96.3	3,913	1.7
	年間商品販売額	14,432,120	100.0	13,897,510	96.3	13,481,058	97.0	261,138	1.9
卸売業	商店数	10,123	100.0	8,513	84.1	8,408	98.8	43	0.5
	従業者数	105,418	100.0	100,672	95.5	99,205	98.5	718	0.7
	年間商品販売額	10,883,328	100.0	10,805,314	99.3	10,557,844	97.7	186,730	1.7
小売業	商店数	33,892	100.0	14,774	43.6	13,846	93.7	507	3.4
	従業者数	176,774	100.0	125,405	70.9	118,620	94.6	3,195	2.5
	年間商品販売額	3,548,792	100.0	3,092,196	87.1	2,923,213	94.5	74,408	2.4

図9 卸売・小売業別の従業者1人当たりの年間商品販売額

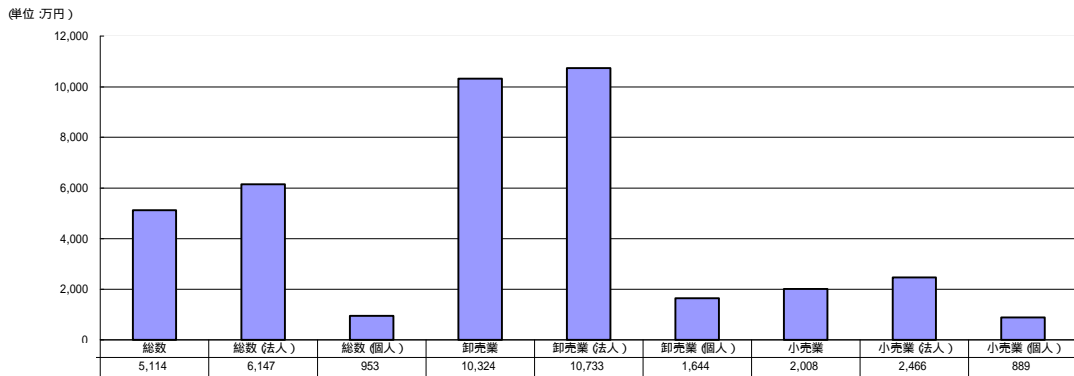
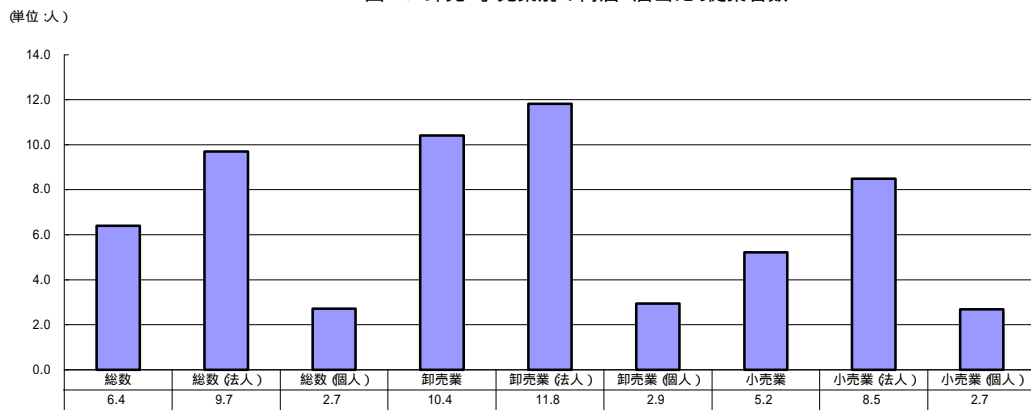


図10 卸売・小売業別の商店1店当たりの従業者数



(表9 つづき)

(単位:店,人,百万円,%)

生協		その他組合		その他法人		個人	
実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
61	0.3	281	1.2	141	0.6	20,728	47.1
1,480	0.7	1,805	0.8	1,054	0.5	56,115	19.9
58,732	0.4	81,259	0.6	15,323	0.1	534,610	3.7
1	0.0	53	0.6	8	0.1	1,610	15.9
21	0.0	601	0.6	127	0.1	4,746	4.5
1,162	0.0	54,142	0.5	5,436	0.1	78,014	0.7
60	0.4	228	1.5	133	0.9	19,118	56.4
1,459	1.2	1,204	1.0	927	0.7	51,369	29.1
57,570	1.9	27,117	0.9	9,888	0.3	456,596	12.9

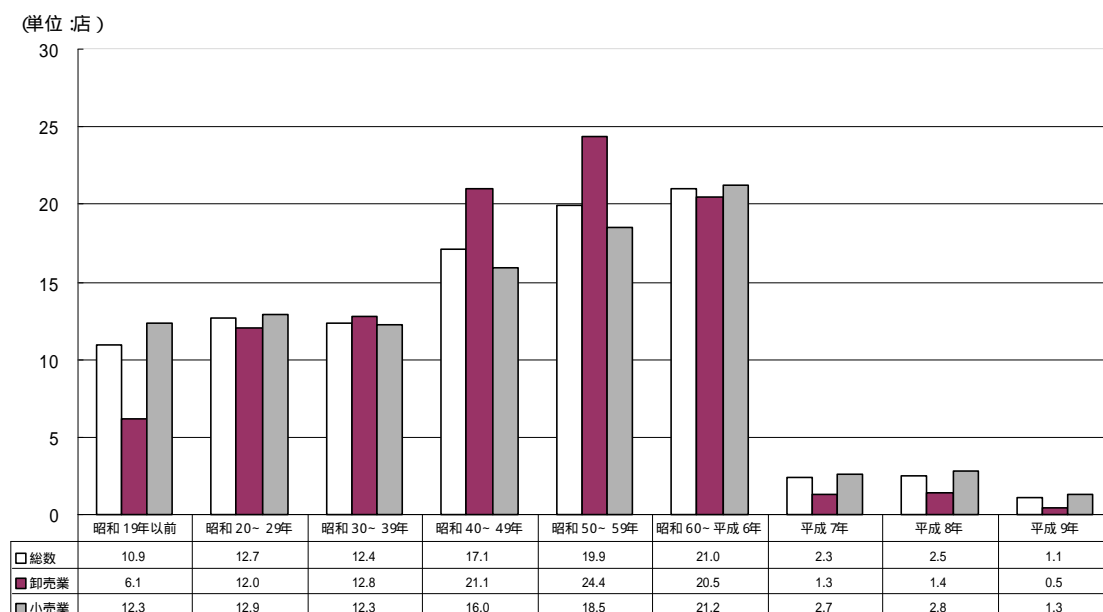
3 商店の開設年

商店数を開設年別に10年単位でみると、商店数44,015店のうち、昭和60年～平成6年までの間に開設された商店が全体の21.0%を占め最も高くなっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業で最も多いのは、昭和50年～59年開設の商店(構成比24.4%)であり、次いで昭和40～49年開設の商店(構成比21.1%)、昭和60年～平成6年開設の商店(構成比20.5%)となっている。

小売業で最も多いのは、昭和60年～平成6年開設の商店(構成比21.2%)であり、次いで昭和50～59年開設の商店(構成比18.5%)昭和40～49年開設の商店(構成比16.0%)となっている。[図11]

図11 開設年別商店数の推移(卸売・小売業別)



4 単独店、本店、支店の状況

(1) 商店数

商店数の67.8%は、単独店で占められ、次いで支店26.3%、本店5.9%となっている。

卸売・小売業別にみると、単独店の占める割合は、卸売業では52.6%、小売業では72.3%となっている。

(2) 従業者数

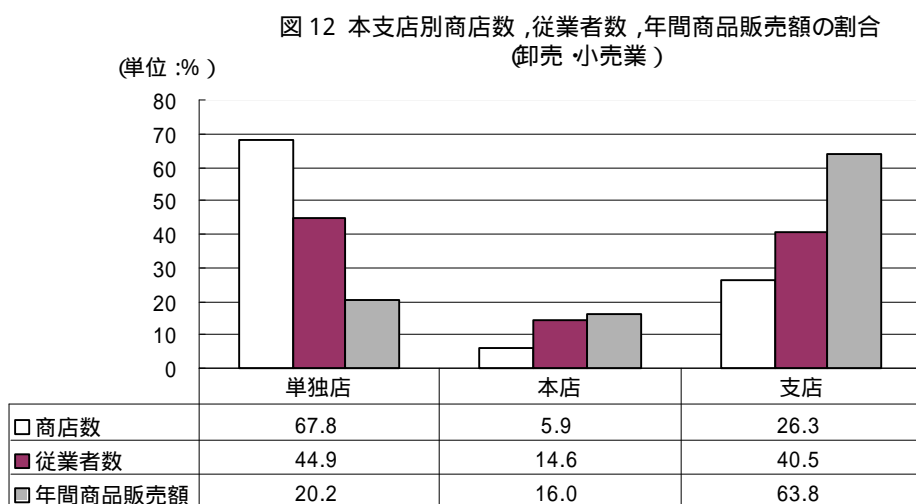
従業者数の44.9%が単独店で占められ、次いで支店40.5%、本店14.6%となっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業の42.2%が支店で占められ、次いで単独店35.4%、本店22.4%となっている。小売業では50.5%が単独店、次いで支店39.5%、本店9.9%となっている。

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額の63.8%は支店で占められており、単独店20.2%、本店16.0%となっている。

卸売・小売業別にみると、卸売業では年間商品販売額の67.4%が支店で占められ、小売業でも、52.6%と支店の割合が最も多くなっている。[図12, 13, 14]



注) 単独店とは支店を持たない商店、本店とは支店を持つ商店をいいます。

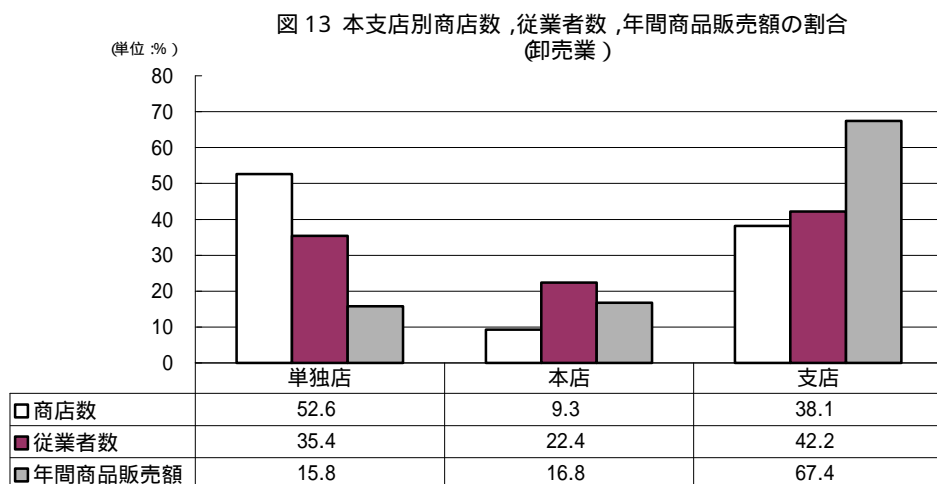
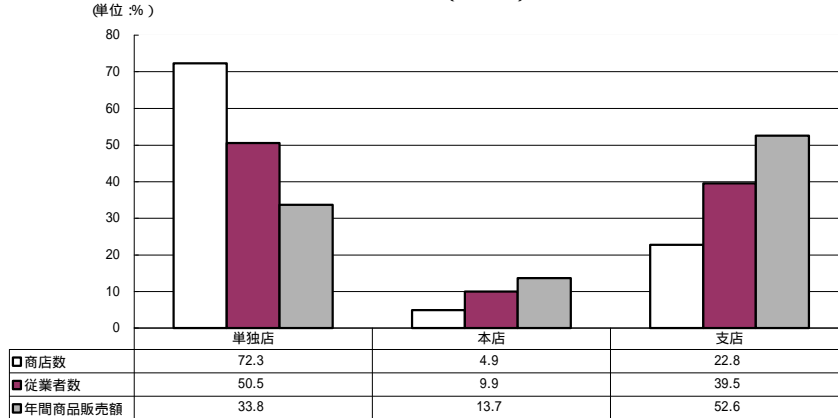


図 14 本支店別商店数, 従業者数, 年間商品販売額の割合 (小売業)



第 2 卸売業

1 概要

(1) 商店数

商店数は, 10,123 店で, 前回調査に比べ, 1,008 店(9.1%)減となっており, 前回(11.4%減)に比べ, 減少幅が小さくなっている。[表 10, 図 15, 16]

表 10 業種別商店数, 従業者数, 年間商品販売額 (卸売業) (単位: 店, 人, 億円, %)

中分類名	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率
総数	44,015	(100.0)	7.6	282,192	(100.0)	6.3	144,321	(100.0)	2.8
卸売業	10,123	(23.0)	9.1	105,418	(37.4)	12.1	108,833	(75.4)	3.7
481 各種商品卸売業	34	0.3	5.6	444	0.4	24.0	2,252	2.1	48.0
491 繊維品卸売業 (衣服、身の回り品を除く)	82	0.8	16.3	630	0.6	40.6	572	0.5	15.7
492 衣服・身の回り品卸売業	676	6.7	8.0	8,271	7.8	8.8	3,939	3.6	19.4
501 農畜産物・水産物卸売業	810	8.0	5.5	9,269	8.8	9.3	8,120	7.5	5.3
502 食料・飲料卸売業	1,288	12.7	9.0	14,416	13.7	5.4	12,229	11.2	2.6
511 建築材料卸売業	1,198	11.8	9.2	10,232	9.7	10.2	8,993	8.3	8.6
512 化学製品卸売業	463	4.6	6.8	3,357	3.2	15.2	3,080	2.8	4.8
513 鉱物・金属材料卸売業	523	5.2	6.9	5,917	5.6	21.1	17,679	16.2	15.3
514 再生资源卸売業	215	2.1	14.0	1,337	1.3	10.1	637	0.6	4.1
521 一般機械器具卸売業	1,171	11.6	13.5	10,026	9.5	19.9	11,124	10.2	2.6
522 自動車卸売業	421	4.2	3.2	5,554	5.3	3.7	8,565	7.9	14.2
523 電気機械器具卸売業	687	6.8	8.4	10,167	9.6	16.2	12,538	11.5	3.3
529 その他の機械器具卸売業	355	3.5	8.5	3,030	2.9	11.7	2,697	2.5	24.2
531 家具・建具・しゅう器等卸売業	467	4.6	15.4	3,959	3.8	21.7	1,996	1.8	15.4
532 医薬品・化粧品等卸売業	532	5.3	14.9	8,310	7.9	11.4	5,306	4.9	14.1
533 代理商、仲立業	7	0.1	0.0	46	0.0	84.0	-	-	-
539 他に分類されない卸売業	1,194	11.8	4.5	10,453	9.9	9.7	9,107	8.4	26.6

注 1) () は, 構成比総数に対する比率である。

図 15 商店数の推移 (卸売業)

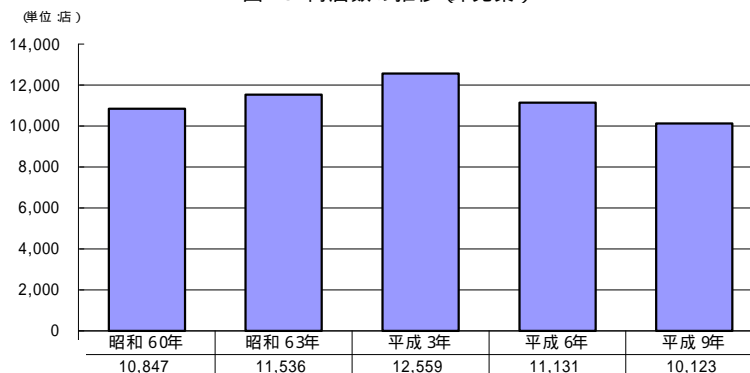
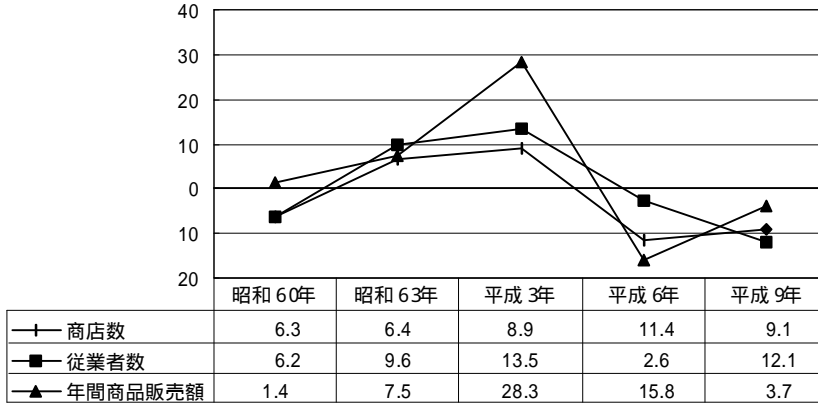


図 16 増加率の推移 (卸売業)

(単位: %)



業種別にみると、繊維品卸売業（構成比 0.8%）16.3%減、家具・建具・じゅう器等卸売業（構成比 4.6%）15.4%減など絶対数の少ない代理商・仲立業を除く全 16 業種で減少している。[表 10, 図 17, 19]

市町村別では、庄原市 6.2%増、尾道市 2.0%増であるが、ほかの 11 市では減少している。[表 3]

広域市町村圏別では、江能圏域（構成比 0.4%）18.2%増、芸北圏域（構成比 0.8%）6.3%増となっているが、ほかの 8 圏域では減少している。[表 4, 図 18]

図 17 業種別商店数の増減率 (卸売業)

(単位: %)

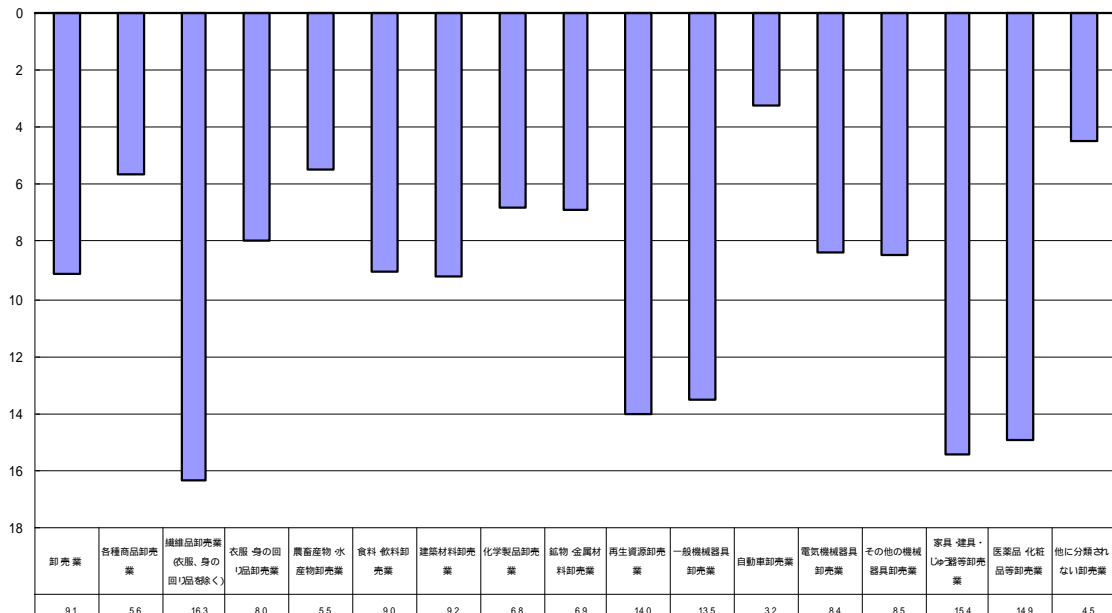


図18 広域市町村圏別商店数の増減率（卸売業）

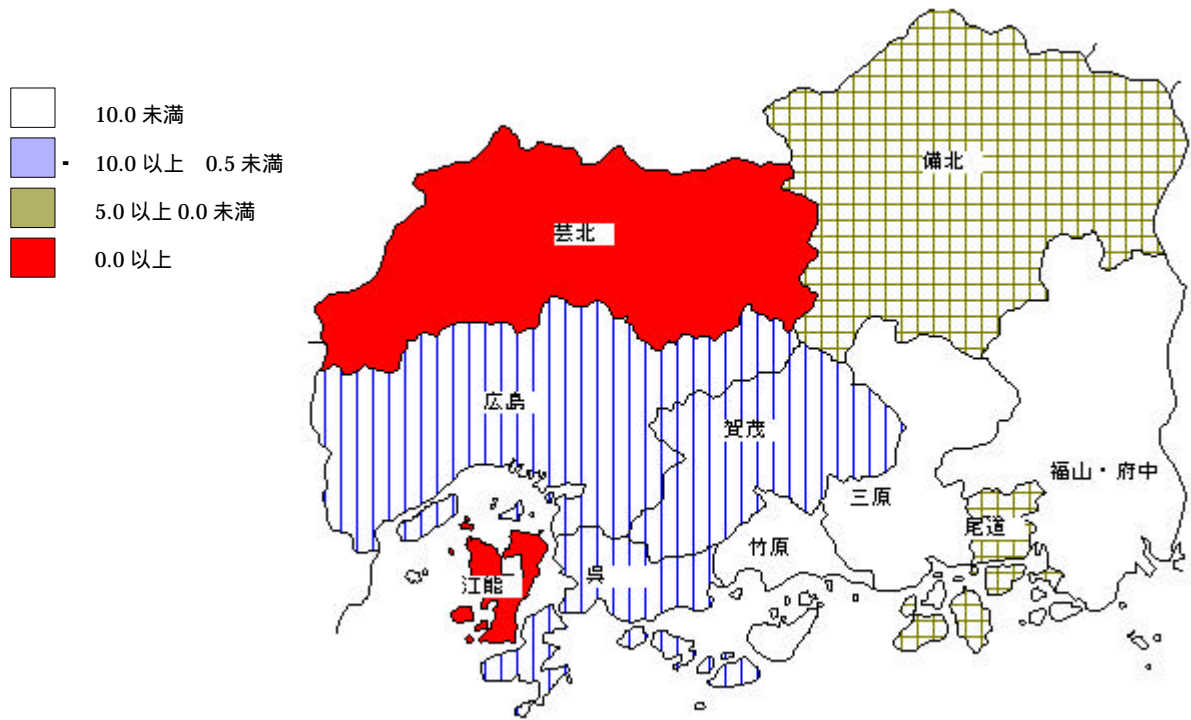
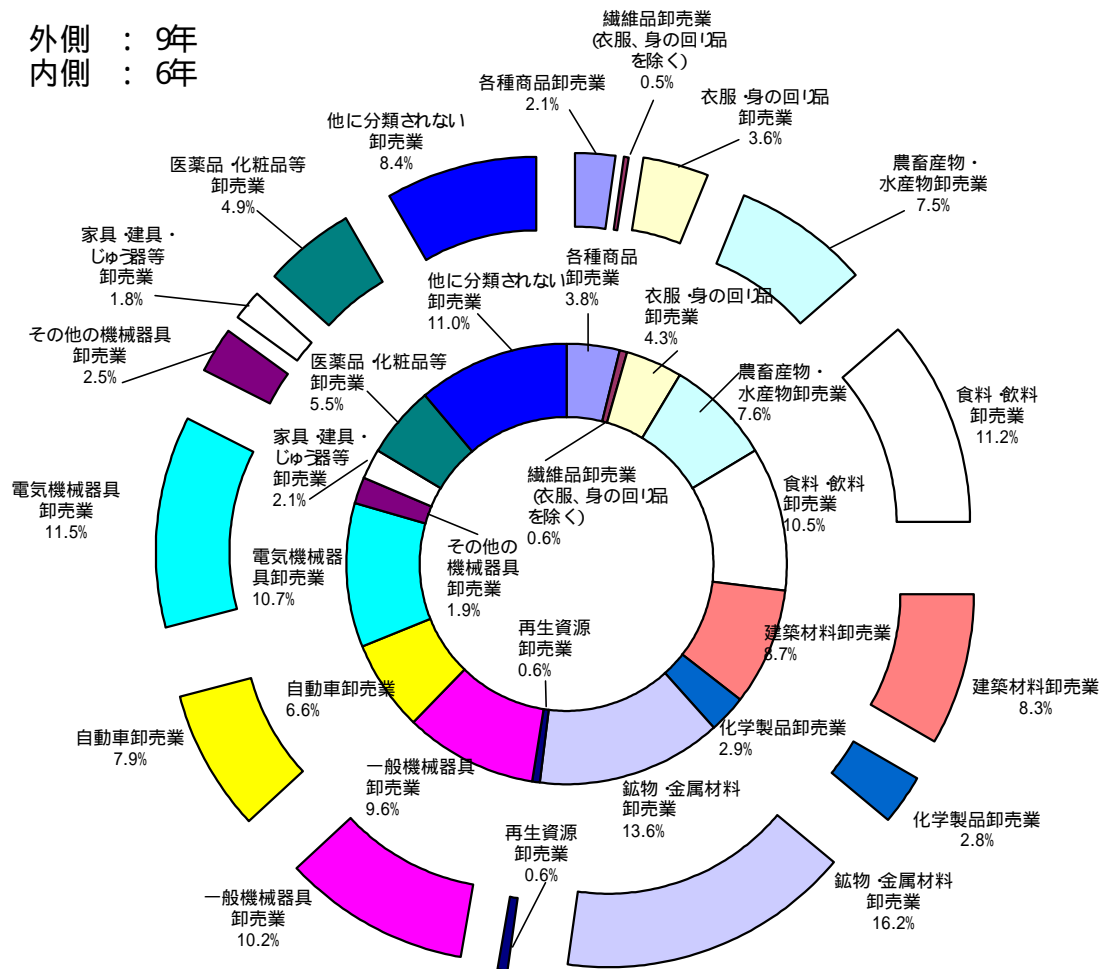


図19 業種別年間商品販売額構成比の比較（卸売業）

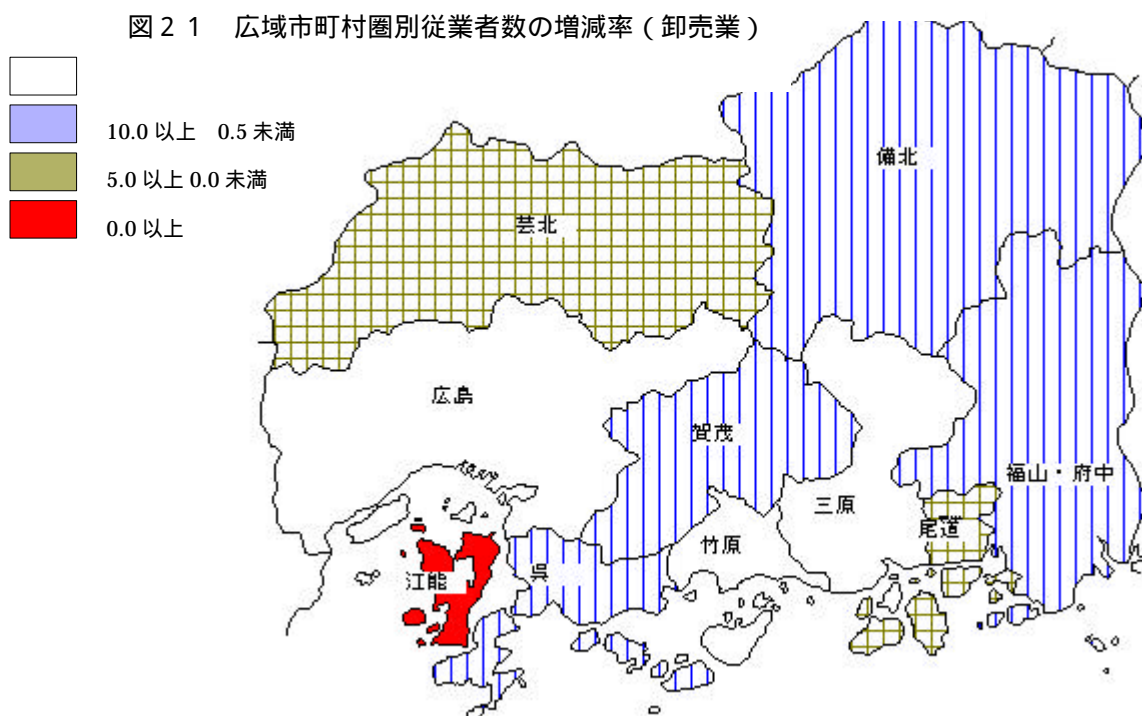
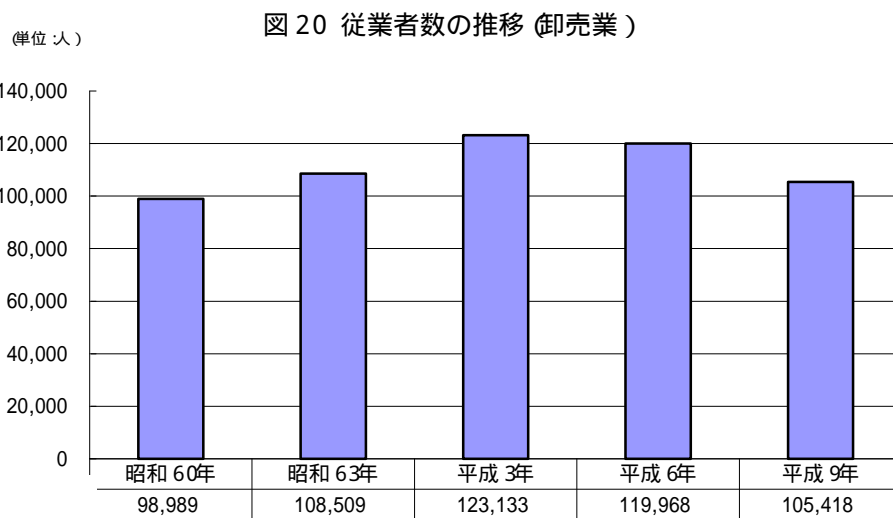


(2) 従業者数

従業者数については、105,418人で、前回調査に比べ、14,550人（12.1%）減となっており、前回調査（2.6%減）に比べ減少幅が大きくなっている。[表10、図16、20]

業種別にみると、絶対数の少ない代理商・仲立業を除き、自動車卸売業（構成比5.3%）が3.7%増であるほかは、繊維品卸売業（構成比0.6%）40.6%減など15業種で減少している。[表10]

広域市町村圏別では、江能圏域（構成比0.3%）で14.7%増となっているが、三原圏域（構成比2.0%）17.2%減、広島圏域（構成比65.7%）14.5%減、竹原圏域（構成比0.8%）13.2%減など9圏域で減少している。[表6、図21]



(3)年間商品販売額

年間商品販売額は、10兆8,833億円で、前回調査に比べ、4,221億円(3.7%)減となっており、前回調査の15.8%減に比べ、減少幅は小さくなっている。[表10, 図16, 22]

業種別では、その他の機械器具卸売業(構成比2.5%)24.2%増、鉱物・金属材料卸売業(構成比16.2%)15.3%増など6業種では増加している。一方、各種商品卸売業(構成比2.1%)48.0%減、他に分類されない卸売業(構成比8.4%)26.6%減など10業種では減少している。[表10]

市町村別では、三次市(構成比0.9%)31.0%増、東広島市(構成比1.1%)14.7%増など5市で増加がみられる。一方、三原市(構成比1.2%)15.6%減など8市で減少している。[表7]

広域市町村圏別では、備北圏域(構成比1.1%)24.0%増、賀茂圏域(構成比1.2%)13.9%増など3圏域で増加しているが、三原圏域(構成比1.3%)10.2%減、福山・府中圏域(構成比11.1%)9.8%減など7圏域で減少している。[表8, 図23]

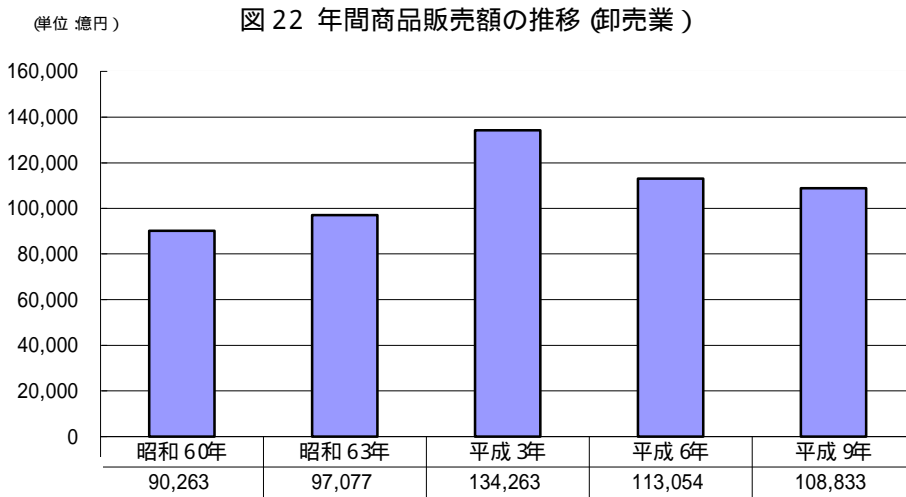
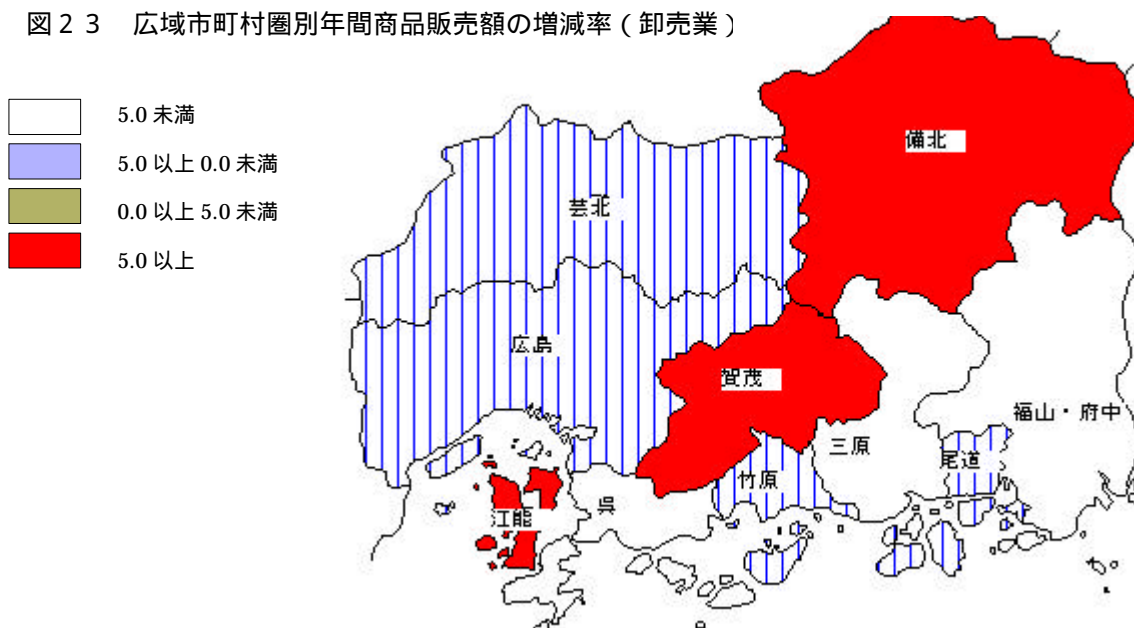


図23 広域市町村圏別年間商品販売額の増減率(卸売業)

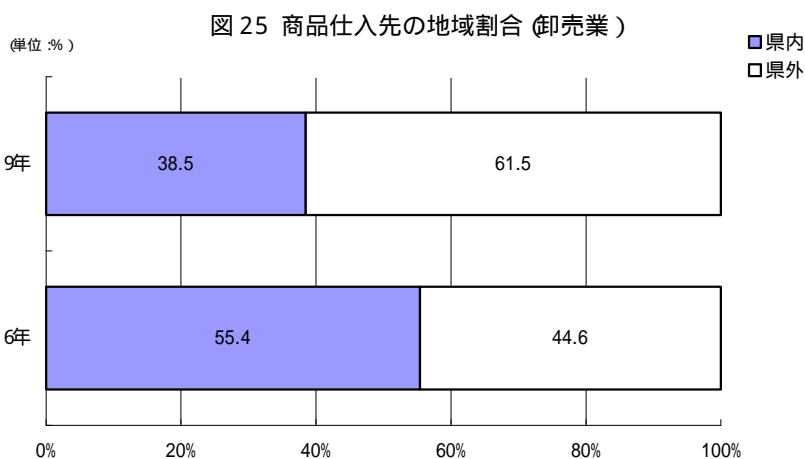
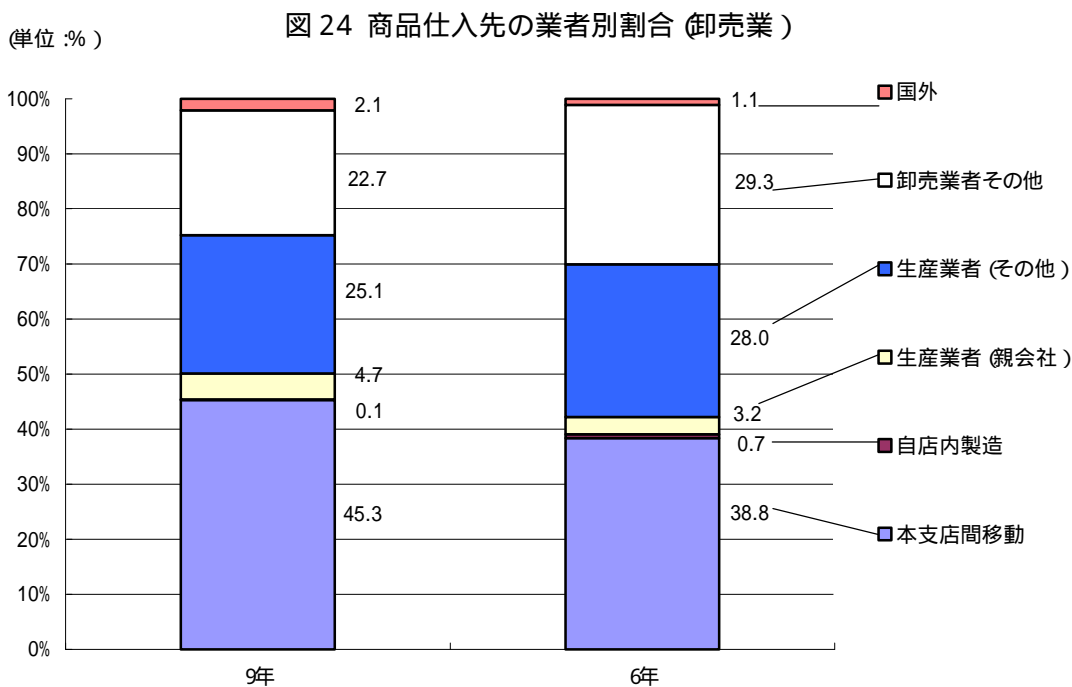


2 商品の仕入先

卸売業（法人）における商店の仕入先を業種別にみると、本支店間移動の割合が45.3%と最も大きく、次いで「生産業者」（構成比25.1%）、「卸売業者その他」（構成比22.7%）などとなっている。

前回調査と比べると、「生産業者」、「卸売業者その他」の割合が減少し、本支店間移動の割合が増加している。[図24]

仕入先の地域別割合をみると、県内仕入れ割合は38.5%となり、前回と比べると16.9%減少している。[図25]



3 商品の販売先

卸売業（法人）の商品販売先をみると、卸売業者への販売の割合が36.7%と最も大きく、次いで小売業者28.5%、産業用使用者27.3%となっている。

前回調査に比べると、卸売業者への販売の割合が40.7%から36.7%へと減少しているものの、小売業者及び産業用使用者への販売は増加している。[図26]

販売先の地域別割合をみると、県内の割合は72.7%となり、前回調査(80.5%)に比べ、減少している。(図27)

図 26 卸売販売先の業者別割合 (卸売業)

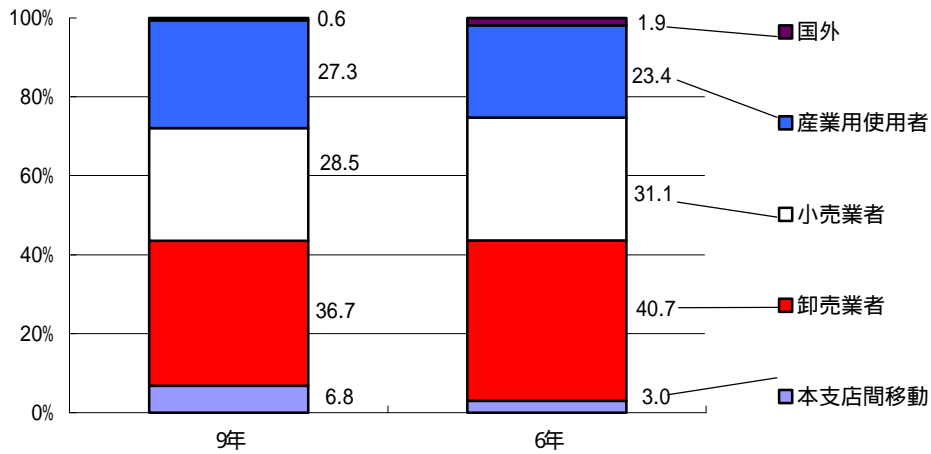
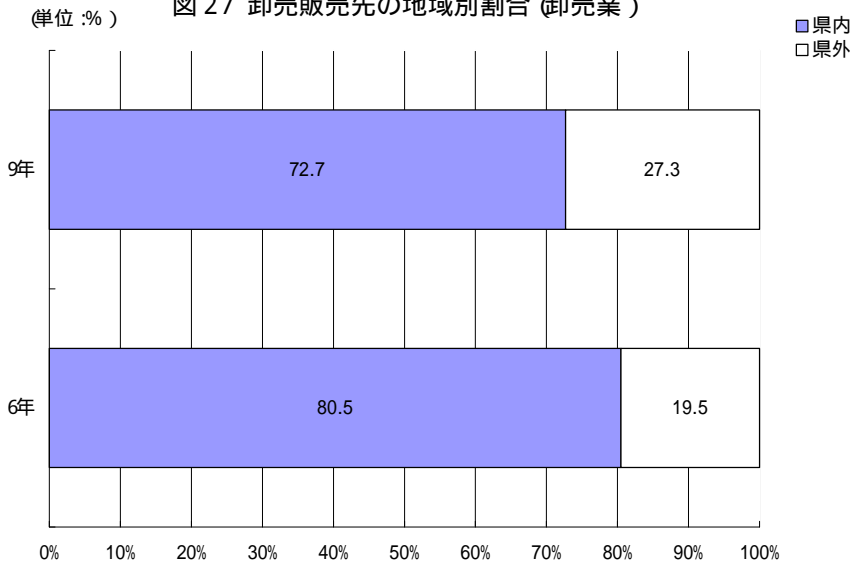


図 27 卸売販売先の地域別割合 (卸売業)



4 従業者規模別

(1) 商店数

従業者規模別にみると、従業者数 9 人以下の商店数が全体の 7 割を占めている。

内訳は、「1～2 人」規模の商店が占める割合が 18.9%、「3～4 人」規模が 24.1%、「5～9 人」規模が 29.0%となっている。

前回調査に比べ、「100 人以上」規模の商店数が 31.0%減となっているなど、すべての規模にわたり減少している。[表 11]

表 11 従業者規模別の商店数, 従業者数, 年間商品販売額 (卸売業)

(単位: 店, 人, 百万円, %)

区分	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率
卸売業	10,123	100.0	9.1	105,418	100.0	12.1	10,883,328	100.0	3.7
1～2人	1,915	18.9	7.8	3,309	3.1	9.3	154,575	1.4	3.7
3～4人	2,441	24.1	7.3	8,467	8.0	7.6	601,655	5.5	4.2
5～9人	2,937	29.0	9.9	19,402	18.4	9.4	1,695,143	15.6	1.9
10～19人	1,681	16.6	9.7	22,470	21.3	8.8	2,094,682	19.2	5.3
20～29人	505	5.0	14.6	11,896	11.3	14.9	997,314	9.2	18.1
30～49人	373	3.7	0.8	14,102	13.4	0.9	1,872,888	17.2	58.2
50～99人	202	2.0	12.6	13,557	12.9	13.0	2,055,248	18.9	28.0
100人以上	69	0.7	31.0	12,215	11.6	29.4	1,411,824	13.0	2.9

(2) 従業者数

卸売業では、従業者数の88.9%は、従業者数5人以上の規模の商店で占められている。内訳は、「10～19人」規模の商店の割合が21.3%で最も多く、「1～2人」規模の商店が3.1%で最も少なくなっている。

前回調査と比べると、「100人以上」規模の商店での29.4%減をはじめすべての規模の商店で減少している。[表11]

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額については、「10～19人」規模の商店が卸売業全体の19.2%を占めて最も高く、次いで「50～99人」規模18.9%などとなっている。

前回調査に比べると、「30～49人」規模の商店が58.2%増で最も増加率が大きいのははじめ3つの規模では増加している。

一方、「50～99人」規模の商店の28.0%減など5つの区分では減少している。[表11]

5 経営規模及び販売効率

代理商、仲立業を除いた卸売業の経営規模をみると、商店1店当たりの年間商品販売額は1,076万円であり、前回と比べると、5.9%増となっている。

業種別では、各種商品卸売業が6,622万円でも最も大きく、再生資源卸売業が296万円でも最も小さくなっている。

増減率は、その他の機械器具卸売業が35.8%増で最も高く、各種商品卸売業が44.9%減で最も低くなっている。

卸売業の商店1店当たりの従業者数は10.4人であり、前回調査と比べ、3.4%減となっている。

業種別では、医薬品・化粧品等卸売業が15.6人で最も大きく、再生資源卸売業が6.2人で最も小さくなっている。

増減率は、自動車卸売業が7.1%増で最も高く、繊維品卸売業が29.0%減で最も低くなっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額は、103百万円であり、前回調査と比べ9.6%増となっている。

業種別では、各種商品卸売業が507百万円で最も大きく、衣服・身の回り品卸売業及び再生資源卸売業がそれぞれ48百万円で最も小さくなっている。

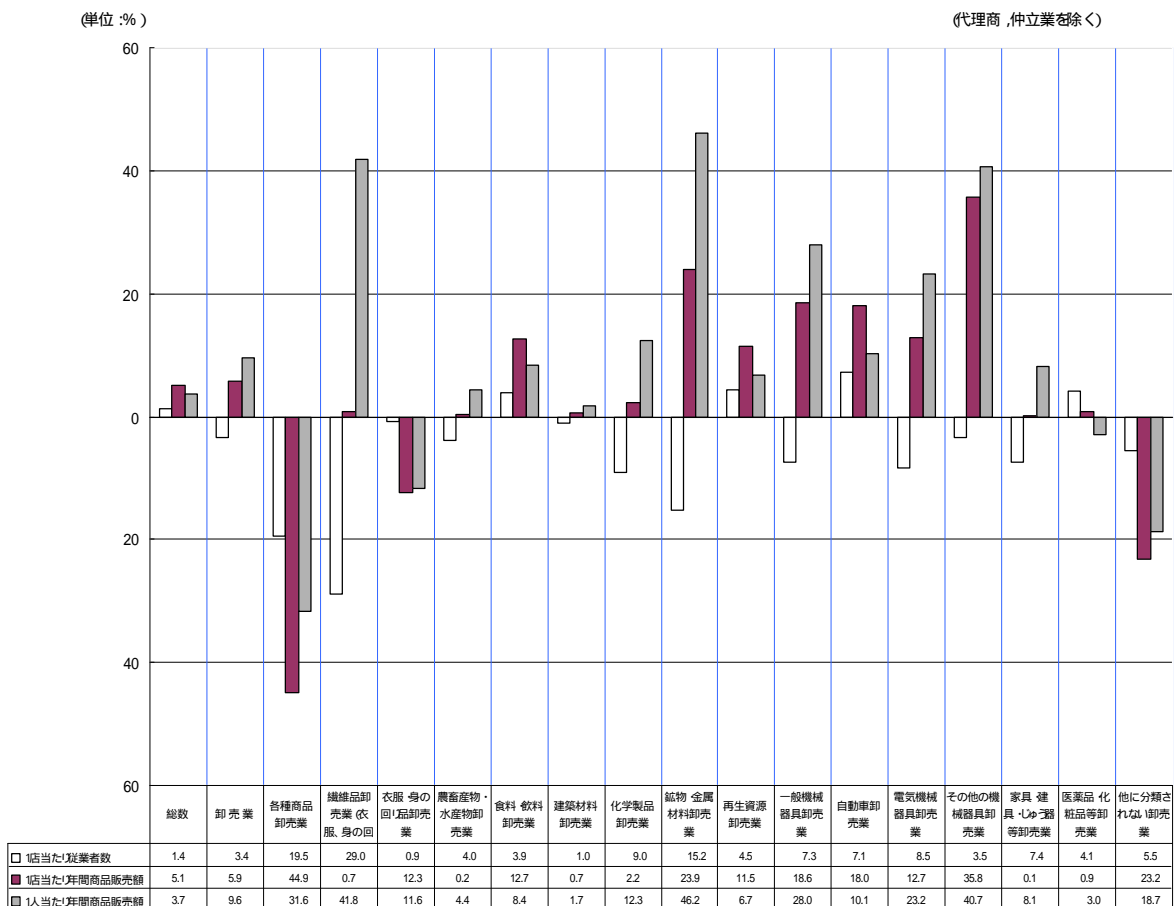
増減率は、鉱物・金属材料等卸売業が46.2%増で最も高く、各種商品卸売業が31.6%減で最も低くなっている。[表12, 図28]

表 12 業種別の経営規模及び販売効率 (卸売業)

(単位:人,百万円,%)

区 分	1店当たり従業者数		1店当たり年間商品販売額		1人当たり年間商品販売額	
	実数	対6年増減率	実数	対6年増減率	実数	対6年増減率
総数	6.4	1.4	328	5.1	51.2	3.7
卸売業	10.4	3.4	1,076	5.9	103.3	9.6
481 各種商品卸売業	13.1	19.5	6,622	44.9	507.1	31.6
491 繊維品卸売業 (衣服、身の回り品を除く)	7.7	29.0	697	0.7	90.7	41.8
492 衣服・身の回り品卸売業	12.2	0.9	583	12.3	47.6	11.6
501 農畜産物・水産物卸売業	11.4	4.0	1,002	0.2	87.6	4.4
502 食料・飲料卸売業	11.2	3.9	949	12.7	84.8	8.4
511 建築材料卸売業	8.5	1.0	751	0.7	87.9	1.7
512 化学製品卸売業	7.3	9.0	665	2.2	91.8	12.3
513 鉱物・金属材料卸売業	11.3	15.2	3,380	23.9	298.8	46.2
514 再生資源卸売業	6.2	4.5	296	11.5	47.6	6.7
521 一般機械器具卸売業	8.6	7.3	950	18.6	110.9	28.0
522 自動車卸売業	13.2	7.1	2,035	18.0	154.2	10.1
523 電気機械器具卸売業	14.8	8.5	1,825	12.7	123.3	23.2
529 その他の機械器具卸売業	8.5	3.5	760	35.8	89.0	40.7
531 家具・建具・じゅうりょう器等卸売業	8.5	7.4	427	0.1	50.4	8.1
532 医薬品・化粧品等卸売業	15.6	4.1	997	0.9	63.8	3.0
533 代理商、仲立業	6.6	84.0	-	-	-	-
539 他に分類されない卸売業	8.8	5.5	763	23.2	87.1	18.7

図 28 業種別販売規模及び販売効率の増減率 (卸売業)



第3 小売業

1 概要

(1) 商店数

商店数については、33,892店で2,591店(7.1%)減となり[表1,図3],前回の5.7%減に比べると、減少割合は大きくなっている。[表13,図29,30]

業種別では、各種商品小売業(構成比0.5%)が12.2%増であったほか、織物・衣服・身の回り品小売業(構成比14.7%)11.8%減、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業(構成比9.7%)8.7%減、など5業種で減少している。(表13,図31)

表13 業種別の商店数,従業者数,年間商品販売額(小売業) (単位:店,人,億円,%)

区 分	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率	実数	構成比	対6年増減率
総数	44,015	(100.0)	7.6	282,192	(100.0)	6.3	144,321	(100.0)	2.8
小売業		(77.0)			(62.6)			(24.6)	
54 各種商品小売業	33,892	100.0	7.1	176,774	100.0	2.4	35,488	100.0	0.1
55 織物・衣服・身の回り品小売業	175	0.5	12.2	12,815	7.2	8.6	5,167	14.6	0.5
56 飲料品小売業	4,980	14.7	11.8	16,131	9.1	14.4	2,893	8.2	10.4
57 自動車・自転車小売業	11,629	34.3	8.6	62,994	35.6	1.4	10,060	28.3	2.6
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	2,378	7.0	0.6	15,270	8.6	0.9	5,075	14.3	12.6
59 その他の小売業	3,304	9.7	8.7	13,687	7.7	8.3	3,065	8.6	1.4
	11,426	33.7	4.3	55,877	31.6	3.7	9,229	26.0	0.6

注1) ()は、構成比総数に対する比率である。

図29 商店数の推移(小売業)

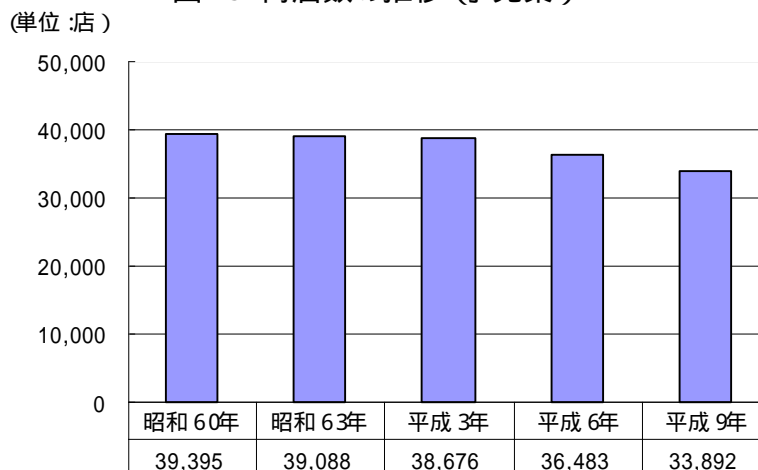


図30 増加率の推移(小売業)

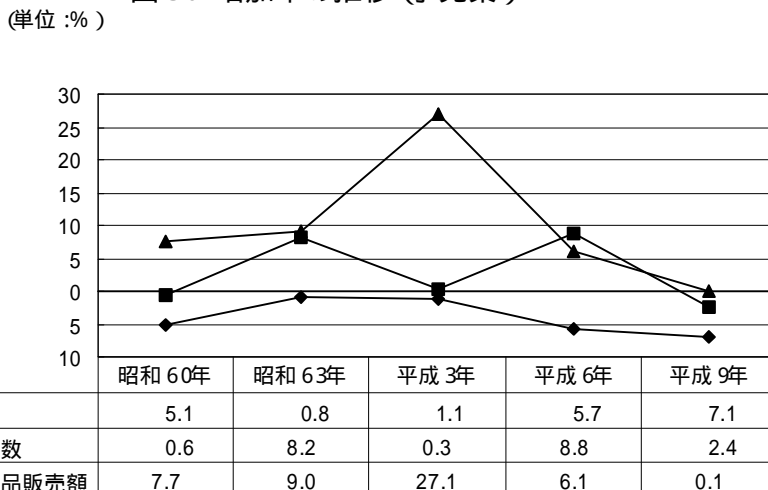
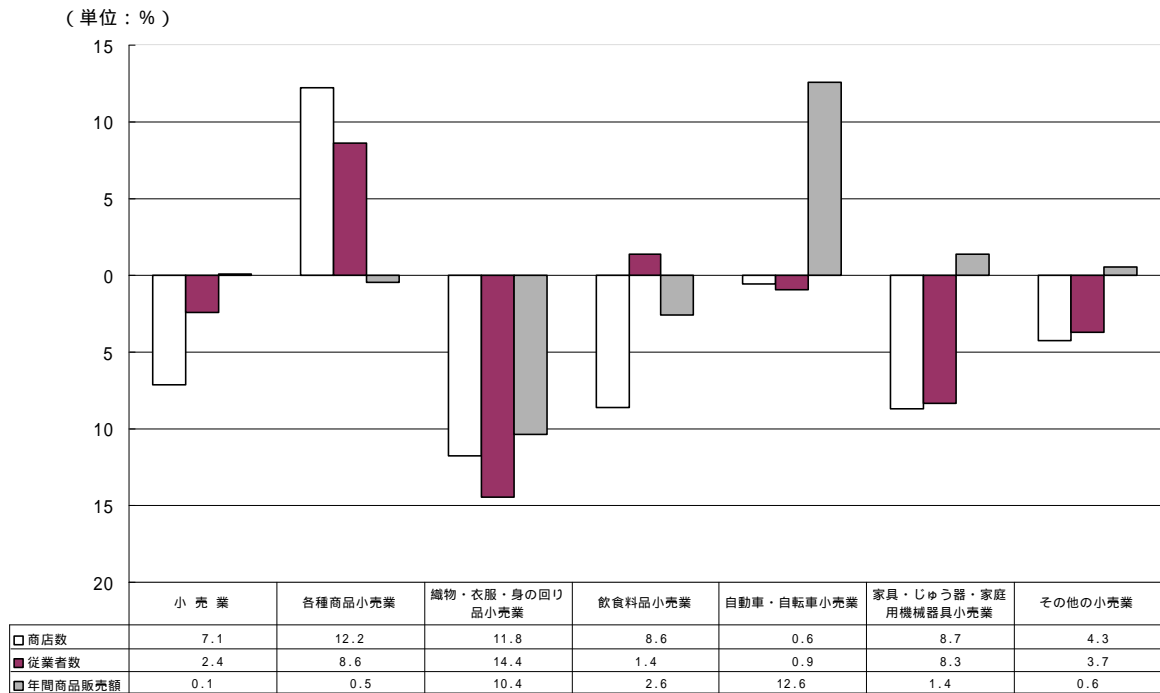


図 31 業種別商店数等の増加率（小売業）

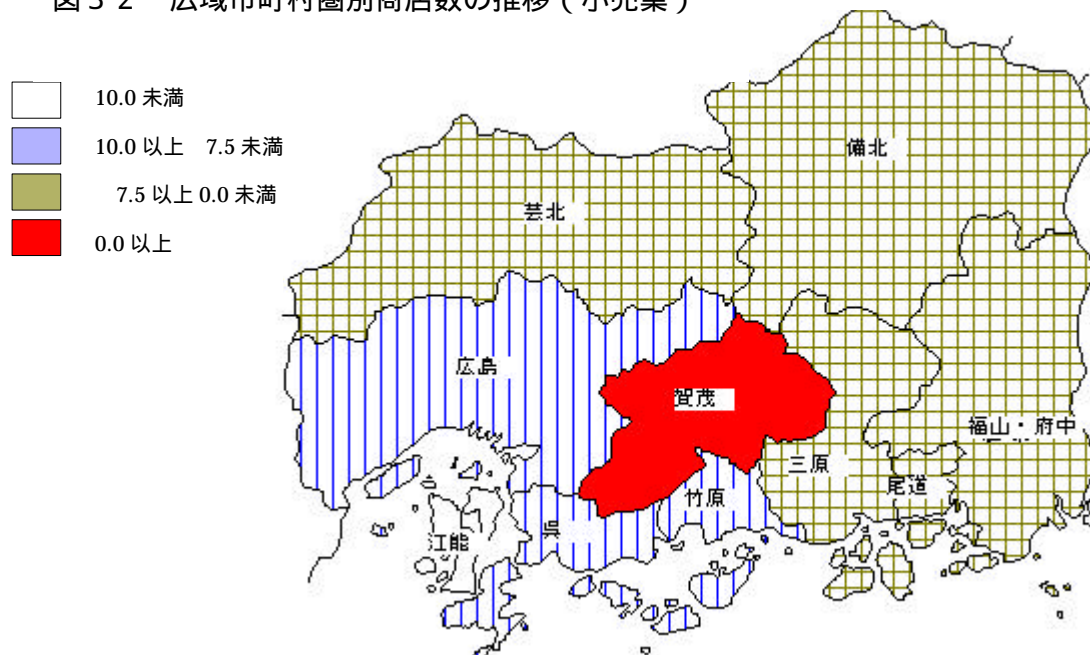


市別では、大竹市 4.6%増、東広島市 3.8%増であるが、ほかの 11 市では減少している。

[表 3]

広域市町村圏別では、賀茂圏域（構成比 4.5%）が 0.5%増となっているが、江能圏域（構成比 1.5%）11.5%減など 9 圏域では減少している。[表 4、図 32]

図 3 2 広域市町村圏別商店数の推移（小売業）



(2) 従業者数

従業者数は、176,774人で4,350人(2.4%)減となり、これまで昭和60年の0.6%減を除き、増加していたが、今回減少に転じている。[表13, 図33]

業種別では、各種商品小売業(構成比7.2%)8.6%増、飲食料品小売業(構成比35.6%)1.4%増であるが、織物・衣服・身の回り品小売業(構成比9.1%)14.4%減などほかの4業種では減少している。[表13, 図31]

市別では、大竹市(構成比1.3%)21.6%増、東広島市(構成比3.9%)15.5%増など8市で増加しているが、尾道市(構成比3.4%)6.9%減など5市で減少している。[表5]

広域市町村圏別では、賀茂圏域(構成比5.3%)13.6%増など4圏域で増加しているが、尾道圏域(構成比5.3%)6.7%減、広島圏域(構成比47.2%)4.7%減など6圏域では減少している。[表6, 図34]

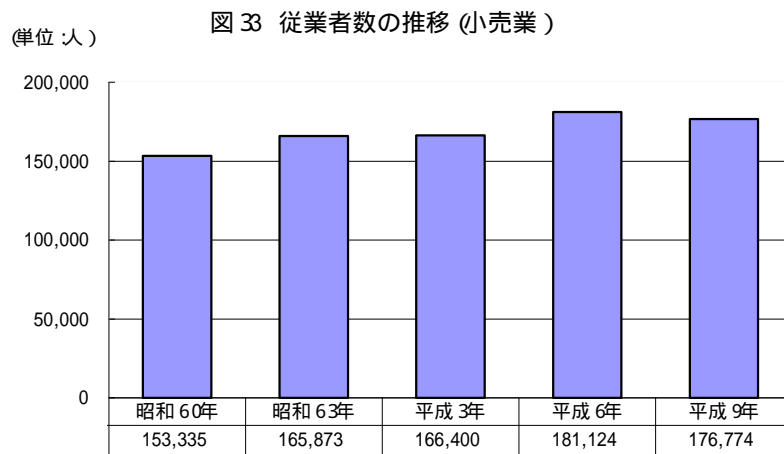
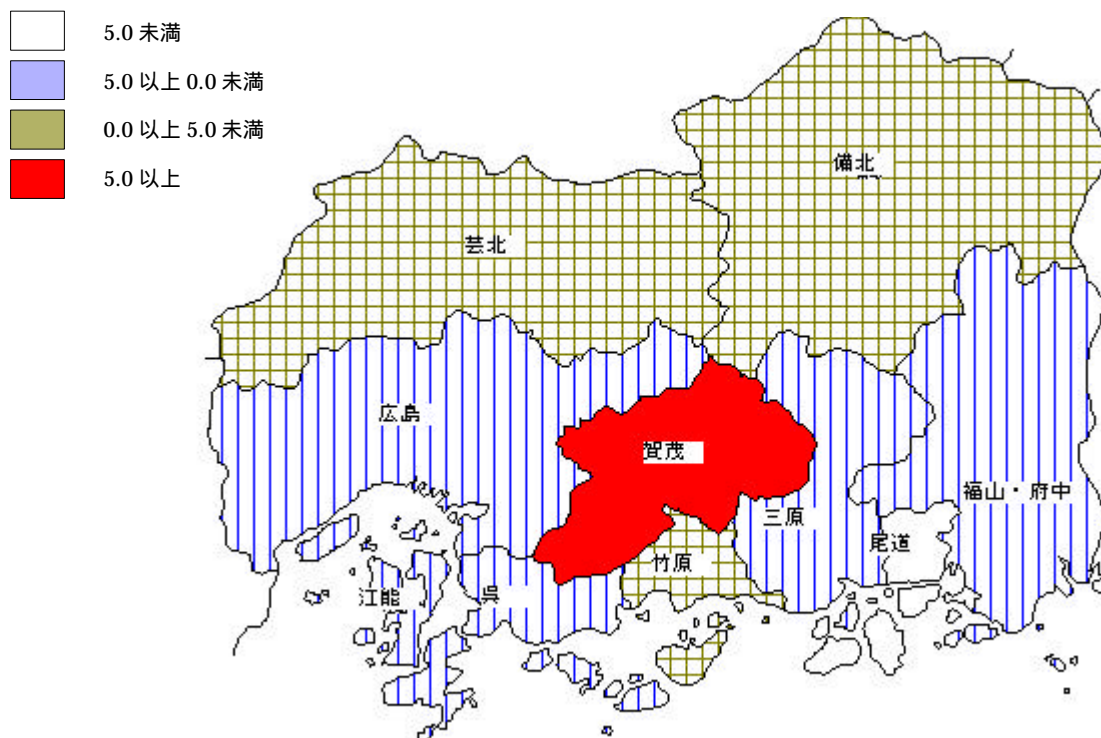


図34 広域市町村圏別従業者数の増減率(小売業)

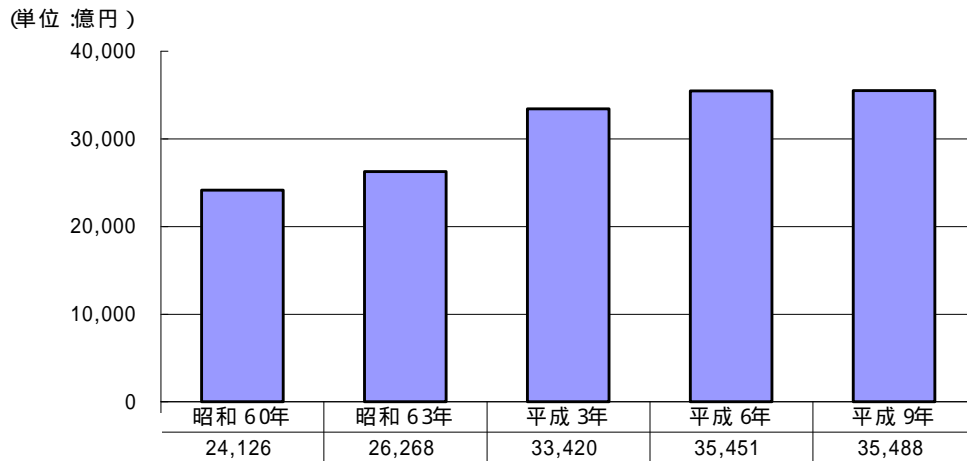


(3)年間商品販売額

年間商品販売額は、3兆5,488億円で、これまで一貫して増加しており、今回も37億円(0.1%)増となっているが、前回調査の6.1%増に比べ増加幅は小さくなっている。[表13、図35]

業種別では、自動車・自転車小売業(構成比14.3%)12.6%増など3業種で増加しているのに対し、織物・衣服・身の回り品小売業(構成比8.2%)10.4%減など3業種で減少している。[表13]

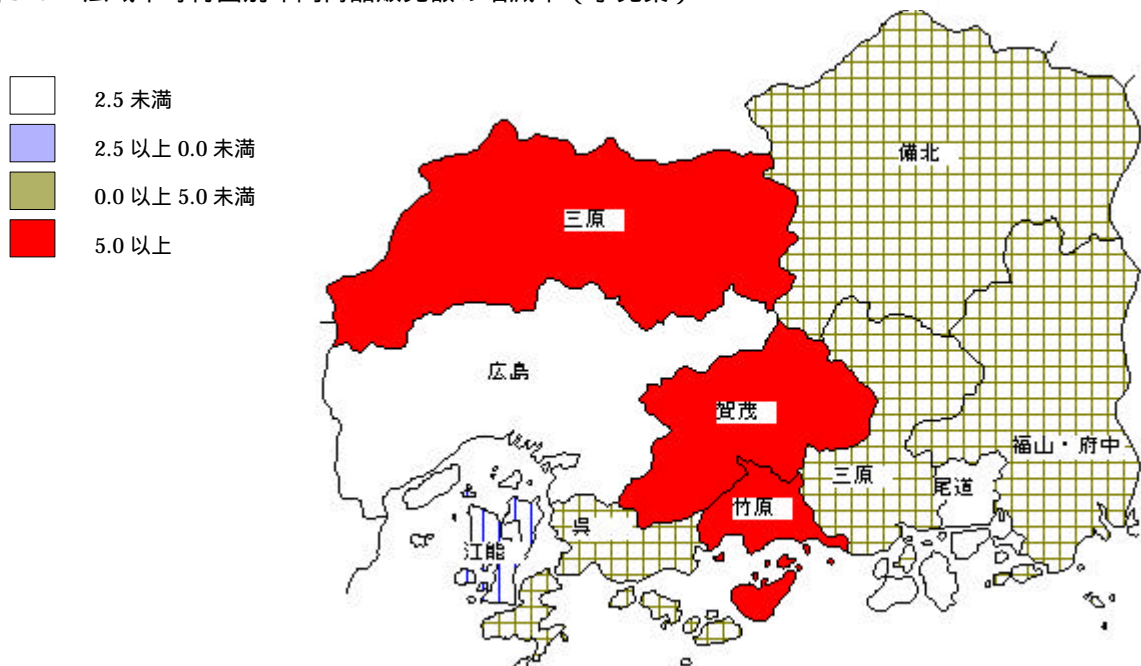
図35 年間商品販売額の推移(小売業)



市別では、庄原市(構成比0.8%)12.5%増、東広島市(構成比4.0%)11.2%増など9市で増加しているが、広島市(構成比44.2%)4.4%減など4市で減少している。[表7]

広域市町村圏別には、尾道圏域(構成比4.3%)4.1%減、広島圏域(構成比51.6%)3.2%減、江能圏域(構成比0.8%)1.5%減など3圏域で減少しているが、賀茂圏域(構成比5.0%)9.0%増など7圏域では増加している。[表8、図36]

図36 広域市町村圏別年間商品販売額の増減率(小売業)



2 商品手持額，商品回転率

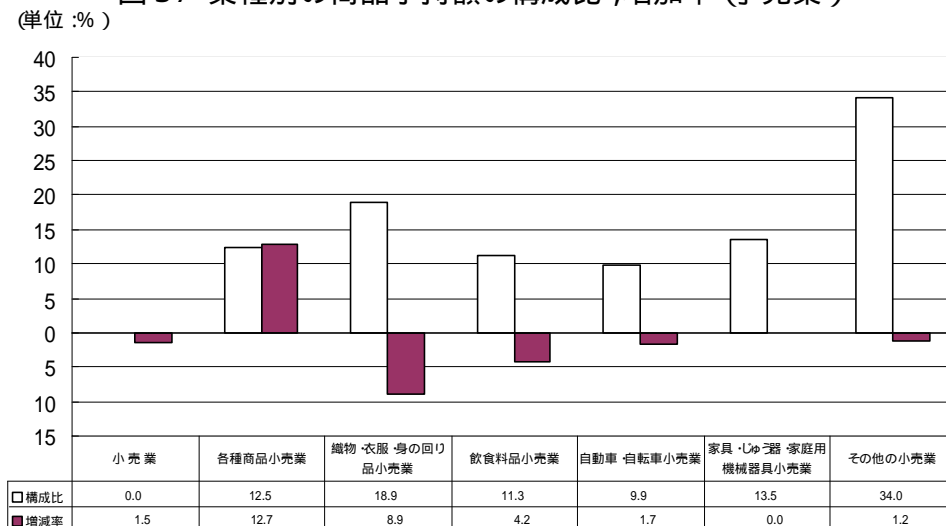
(1) 商品手持額

商品手持額は，3,591 億円であり，前回調査と比べ 1.5% 減となっている。

業種別にみると，その他の小売業が 1,223 億円（構成比 34.0%）で占める割合が最も高くなっている。

増減率については，各種商品小売業が 12.7% 増で最も高く，織物・衣服・身の回り品小売業が 8.9% 減で最も低い。[表 14，図 37]

図 37 業種別の商品手持額の構成比，増加率（小売業）



(2) 商品回転率

年間商品販売額を商品手持額で除した商品回転率をみると，小売業では 9.9 回となり，前回調査（9.7 回）に比べ，0.2 回分上がっている。

業種別には，飲食料品小売業（24.8 回）が最も高く，織物・衣服・身の回り小売業（4.3 回）が最も低くなっている。

前回調査と比べると，自動車・自転車小売業で回転率が増え，各種商品小売業で回数が減っているほかは，目立って大きな動きはなく，前回調査とほぼ同程度となっている。[表 14，図 38，]

図 38 業種別商品回転率（小売業）

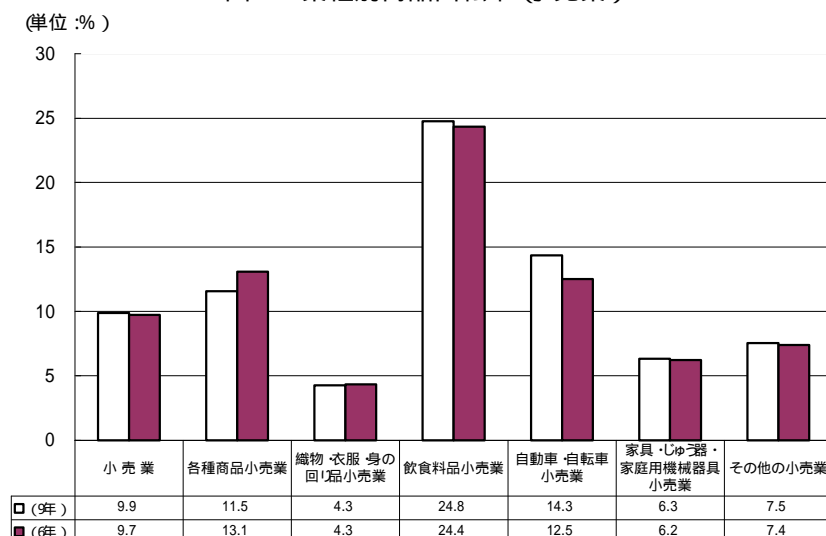


表 14 業種別の商品手持額,商品回転率(小売業) (単位:万円,%)

区 分	商品手持額			商品回転率	
	実数	構成比	増加率	9年	6年
小売業	35,910,177	100.0	1.5	9.9	9.7
54 各種商品小売業	4,473,497	12.5	12.7	11.5	13.1
55 織物・衣服・身の回り品小売業	6,771,904	18.9	8.9	4.3	4.3
56 飲食料品小売業	4,062,868	11.3	4.2	24.8	24.4
57 自動車・自転車小売業	3,538,514	9.9	1.7	14.3	12.5
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	4,836,779	13.5	0.0	6.3	6.2
59 その他の小売業	12,226,615	34.0	1.2	7.5	7.4

注) 商品回転率 = 年間商品販売額 ÷ 商品手持額

3 売場面積

小売業の売場面積(牛乳小売業,自動車小売業,建具小売,豊小売業,ガソリンスタンド及び新聞小売業を除く。)は,323.6万㎡で,7.8%減となっている。

業種別にみると,飲食料品小売業が93.9万㎡(構成比29.0%)で最も大きくなっている。前回調査と比べると,増減率については,各種商品小売業(579,601㎡,構成比17.9%)が7.2%増であるほかは,家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業で19.0%減などすべての業種で減少している。[表15,図39]

1商店当たりの売場面積は,95.5㎡であり,前回調査(96.2㎡)と比べ0.7%減となっている。

業種別にみると,飲食料品小売業で3.6%増となっているほかは,自動車小売業の15.5%減など減少している。

従業者一人当たりの売場面積は,18.3㎡であり,前回調査(19.4㎡)と比べ5.5%減となっている。

業種別にみると,織物・衣服・身の回り品小売業で2.9%増であるほかは,すべての業種で減少している。[表16]

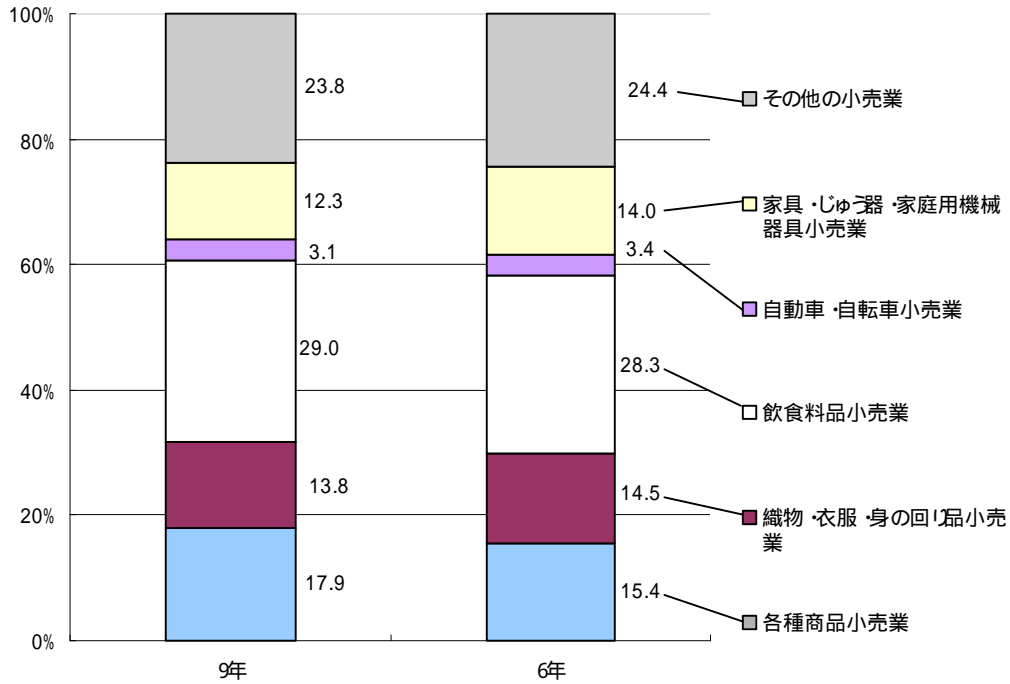
表 15 業種別の売場面積(小売業) (単位:㎡,%)

区 分	実数		構成比		増減率
	9年	6年	9年	6年	
小売業	3,236,429	3,509,200	100.0	100.0	7.8
54 各種商品小売業	579,601	540,693	17.9	15.4	7.2
55 織物・衣服・身の回り品小売業	447,621	507,722	13.8	14.5	11.8
56 飲食料品小売業	938,986	992,299	29.0	28.3	5.4
57 自動車・自転車小売業	101,424	120,845	3.1	3.4	16.1
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	397,832	491,432	12.3	14.0	19.0
59 その他の小売業	770,965	856,209	23.8	24.4	10.0

表 16 業種別の経営規模及び販売効率(小売業) (単位:㎡,%)

区 分	1店当たりの売場面積			従業者1人当たりの売場面積		
	9年	6年	増減率	9年	6年	増減率
小売業	95.5	96.2	0.7	18.3	19.4	5.5
54 各種商品小売業	3312.0	3466.0	4.4	45.2	45.8	1.3
55 織物・衣服・身の回り品小売業	89.9	89.9	0.0	27.7	27.0	2.9
56 飲食料品小売業	80.7	78.0	3.6	14.9	16.0	6.7
57 自動車・自転車小売業	42.7	50.5	15.5	6.6	7.8	15.3
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	120.4	135.9	11.4	29.1	32.9	11.7
59 その他の小売業	67.5	71.7	5.9	13.8	14.7	6.5

図 39 業種別売場面積の構成比 (小売業)



4 年間商品販売額の仕入先別割合

小売業（法人）の年間商品販売額を仕入先別にみると、「卸売業者・その他」からの仕入れの割合が 65.4% で最も多く、次いで「本支店間移動」の 22.8% が多くなっている。

前回調査に比べ、「卸売業者・その他」、「本支店間移動」のいずれも増加しているほかは、横ばいまたは減少となっている。[図 40]

県内、県外別では、県内からの仕入れ割合が 74.6%、県外が 25.4% となっており、県内からの仕入れが 7 割を超えている。

前回調査と比べ、県内の割合が減少し、県外の割合が増加している。[図 41]

図 40 商品仕入先の業者別割合 (小売業)

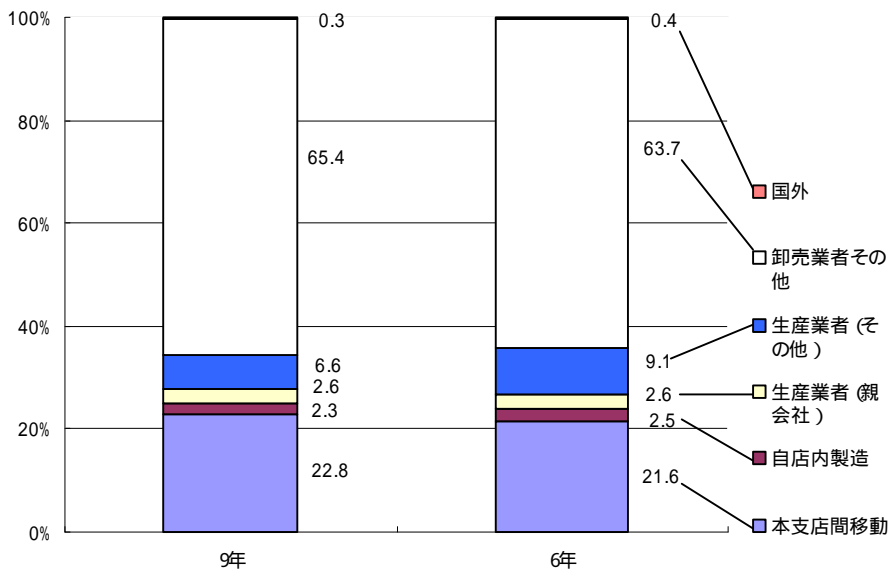
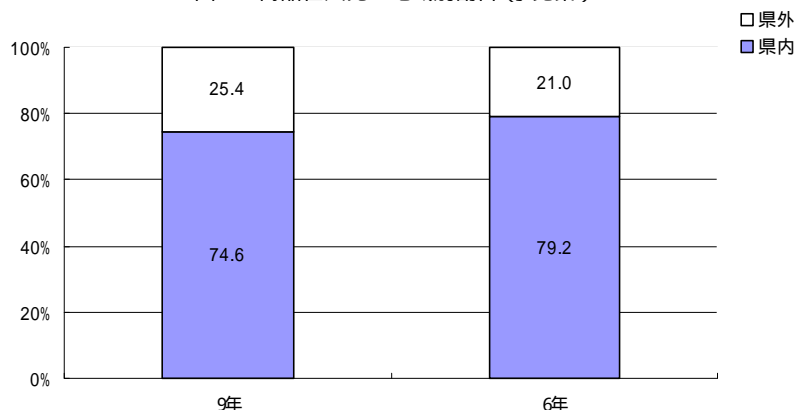


図 41 商品仕入先の地域別割合 (小売業)



5 従業者規模別の商店数など

(1) 商店数

従業者規模別に商店数をみると、小売業では「1～2人」規模の商店が50.3%を占め、ついで「3～4人」規模が24.4%、「5～9人」規模が15.0%を占めており、従業者数4人以下の商店数で小売業全体の7割以上を占め、さらに、全体の約9割が従業者数9人以下の商店で占められている。

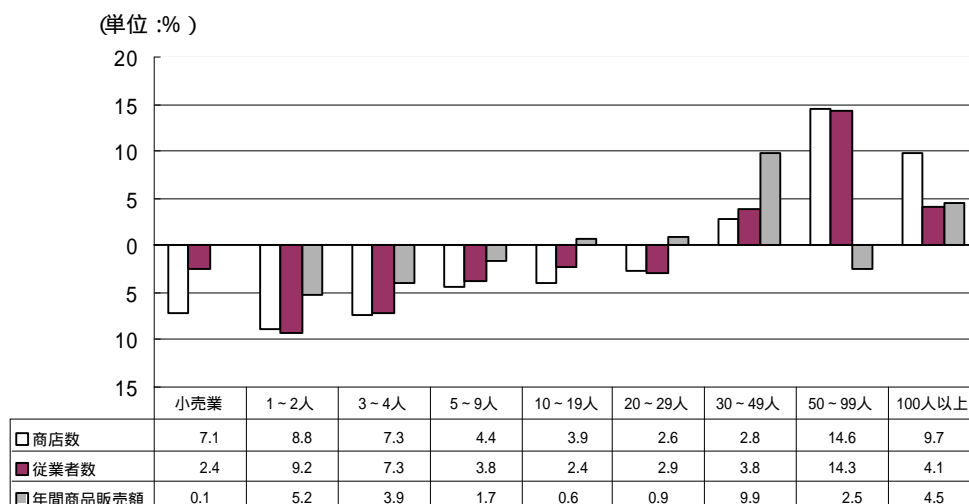
増減率については、小売業では、「1～2人」規模の8.8%減など、従業者数が29人以下の商店ではすべての規模で減少している。

一方、従業者数30人以上の商店では、「50～99人」規模の14.6%増などすべての規模で増加しており、従業者数規模の大きな小売業の増加がみられる。[表17、図42]

表 17 従業者規模別の商店数、従業者数、年間商品販売額 (小売業) (単位:店,人,百万円,%)

区分	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	増加率	実数	構成比	増加率	実数	構成比	増加率
小売業	33,892	100.0	7.1	176,774	100.0	2.4	3,548,792	100.0	0.1
1～2人	17,040	50.3	8.8	27,308	15.4	9.2	330,667	9.3	5.2
3～4人	8,259	24.4	7.3	27,976	15.8	7.3	482,047	13.6	3.9
5～9人	5,074	15.0	4.4	32,219	18.2	3.8	680,595	19.2	1.7
10～19人	2,182	6.4	3.9	29,182	16.5	2.4	630,142	17.8	0.6
20～29人	631	1.9	2.6	14,869	8.4	2.9	313,947	8.8	0.9
30～49人	399	1.2	2.8	15,003	8.5	3.8	318,132	9.0	9.9
50～99人	228	0.7	14.6	15,197	8.6	14.3	240,013	6.8	2.5
100人	79	0.2	9.7	15,020	8.5	4.1	553,249	15.6	4.5

図 42 従業者規模別の商店数等の増減率 (小売業)



(2) 従業者数

従業者数については、30人以上の商店では、「50～99人」規模の商店で14.3%増をはじめ、すべての規模で増加しているが、29人以下の商店では、「1～2人」規模の商店の9.2%減などすべての規模にわたり減少している。[表17, 図42]

(3) 年間商品販売額

年間商品販売額については、9人以下の商店ではすべての規模で減少しているが、10人以上の商店では、「50～99人」規模の商店での2.5%減を除き、「30～49人」規模の9.9%増など増加している。[表17, 図42]

6 売場面積規模別の商店数など

売場面積規模別に商店をみると、「30～49㎡」規模の商店の割合が20.7%、次いで「50～99㎡」規模の商店の割合が19.7%となっているなど99㎡以下の商店でほぼ7割を占めている。[表18, 図43]

年間商品販売額（売場面積不詳を除く。）については、50㎡以上の商店で6割を占めている。このうち、「1,000㎡以上」規模の商店は、商店数に占める割合が0.8%にすぎないものの、年間商品販売額の22.5%を占めており、売場面積の大きな商店が年間商品販売額に占める割合の高さが目立っている。[表18, 図44]

従業者1人当たりの年間商品販売額については、「10～19㎡」規模が847万円で最小であるのに対し、「1,000㎡以上」規模が3,732万円で最大であり、格差が4.4倍となっている。[表18, 図45]

表18 売場面積規模別の商店数など

(単位: 店, 人, 百万円, %)

区分	商店数		従業者数		年間商品販売額		従業者1人あたりの 年間商品販売額(万円)
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
総数	33,892	100.0	176,774	100.0	354,879,187	100.0	2,008
1～9㎡	1,206	3.6	2,393	1.4	2,184,606	0.6	913
10～19㎡	4,170	12.3	8,970	5.1	7,598,454	2.1	847
20～29㎡	4,334	12.8	10,482	5.9	10,635,605	3.0	1,015
30～49㎡	7,005	20.7	20,206	11.4	24,385,555	6.9	1,207
50～99㎡	6,667	19.7	26,613	15.1	40,459,623	11.4	1,520
100～199㎡	3,187	9.4	19,922	11.3	35,838,948	10.1	1,799
200～499㎡	2,100	6.2	19,218	10.9	48,293,410	13.6	2,513
500～999㎡	246	0.7	5,839	3.3	16,284,517	4.6	2,789
1000㎡以上	274	0.8	21,362	12.1	79,716,883	22.5	3,732
不詳	4,703	13.9	41,769	23.6	89,481,586	25.2	2,142

注) 不詳とは、売場面積が0㎡の場合または牛乳小売業、自動車(新車, 中古)小売業、畳(製造, 非製造)

小売業、建具小売業、新聞小売業、ガソリンスタンドの場合である。(図43, 44, 45も同じ)

図 43 売場面積規模別の商店数構成比 (小売業)

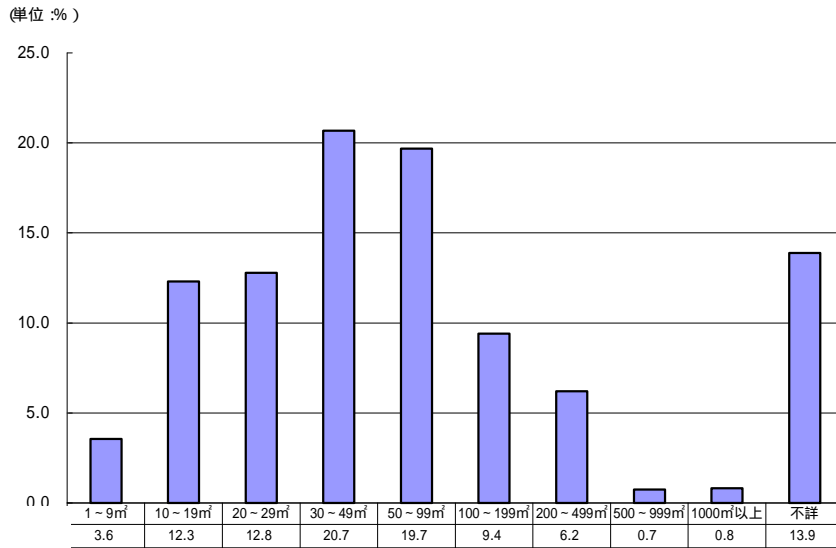


図 44 売場面積規模別の年間商品販売額構成比 (小売業)

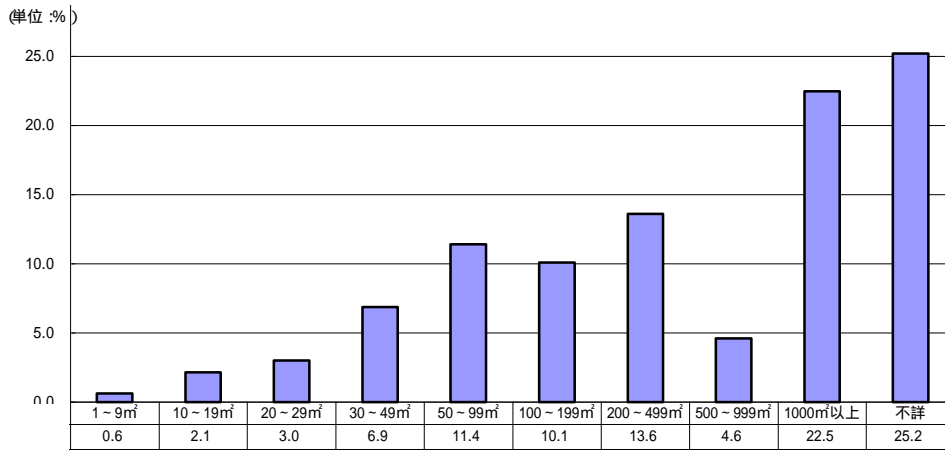
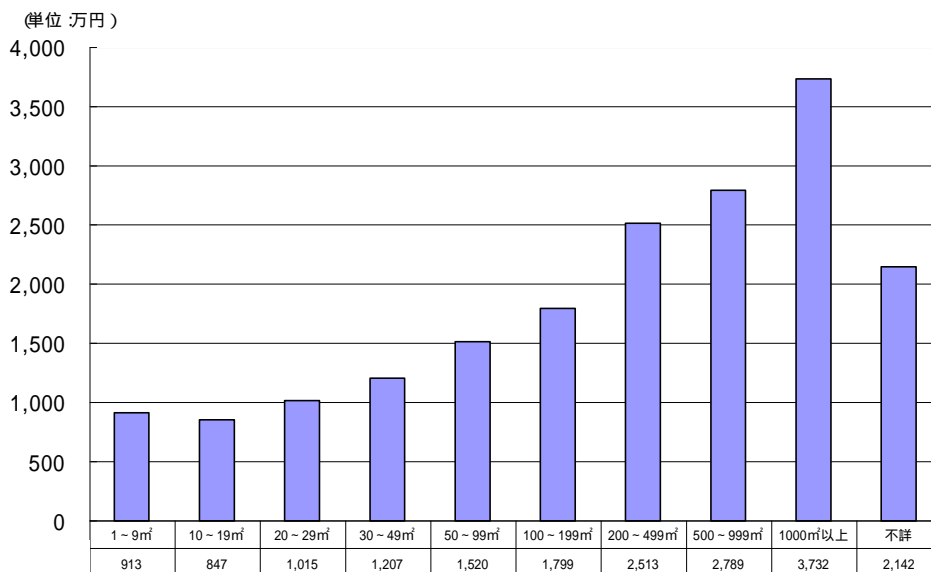


図 45 売場面積規模別の従業者 1人あたり年間商品販売額 (小売業)



7 経営規模及び販売効率

商店1店当たりの従業者数は、5.2人(5.1%増)、1店当たりの年間商品販売額は、10,471万円(7.8%増)であり、前回に比べ小売業の販売効率は高くなっている。[表19, 図46]

業種別にみると、各種商品小売業では、1店当たりの従業者数が73.2人、1店当たりの年間商品販売額が295,235万円であり、規模としては際立って大きいですが、従業者1人当たり年間商品販売額では、4,032万円(8.3%減)、売場面積1㎡当たり年間商品販売額では、89万円(7.1%減)であり、前回調査に比べ減少している。

1店当たり従業者数の増加が最も大きかったのは、飲食料品小売業(5.4人)の11.0%増であるが、1人当たり年間商品販売額(1,597万円)では4.0%減となっている。

1店当たり年間商品販売額の増加率が最も大きかったのは、自動車・自転車小売業(21,341万円)の13.3%増であり、1人当たり年間商品販売額(13.6%増)及び1㎡当たり年間商品販売額(34.1%増)の増加率についても、他の業種に比べ最も高くなっている。[表19, 図46]

表19 業種別の経営規模及び販売効率(小売業)

(単位:人,万円,%)

区分	1店当たり従業者数		1店当たり年間商品販売額		1人当たり年間商品販売額		1㎡当たり年間商品販売額	
	実数	対6年増減率	実数	対6年増減率	実数	対6年増減率	実数	対6年増減率
総数	6.4	1.4	328	5.1	51	3.7	-	-
小売業	5.2	5.1	10,471	7.8	2,008	2.6	110	8.6
54 各種商品小売業	73.2	3.2	295,235	11.3	4,032	8.3	89	7.1
55 織物・衣服・身の回り品小売業	3.2	2.9	5,809	1.6	1,793	4.6	65	1.0
56 飲食料品小売業	5.4	11.0	8,651	6.6	1,597	4.0	107	3.0
57 自動車・自転車小売業	6.4	0.3	21,341	13.3	3,324	13.6	500	34.1
58 家具・じゅうぎょう器 家庭用機械器具小売業	4.1	0.4	9,276	11.0	2,239	10.5	77	24.3
59 その他の小売業	4.9	0.6	8,077	5.1	1,652	4.5	120	11.9

図46 業種別経営規模及び販売効率の増減率(小売業)



8 セルフサービス店

(1) 商店数

セルフサービス店の商店数が小売業全体に占める割合は、6.2%であり、市別にみると、廿日市市（構成比 10.8%）及び東広島市（構成比 8.9%）で割合が高く、府中市（構成比 4.1%）、尾道市（構成比 4.2%）、呉市（構成比 4.4%）で低くなっている。[表 20, 図 47 - 1]

(2) 従業者数

セルフサービス店の従業者数の小売業全体に占める割合は、19.5%であり、市別にみると、廿日市市（構成比 36.2%）、大竹市（構成比 26.2%）で構成比が高く、竹原市（構成比 10.1%）で最も低くなっている。[表 20, 図 47 - 2]

(3) 年間商品販売額

セルフサービス店の年間商品販売額の売場面積の小売業全体に占める割合は、23.4%であり、廿日市市（構成比 43.3%）、因島市（構成比 38.3%）で構成比が高く、竹原市（構成比 14.6%）で最も低くなっている。[表 20, 図 47 - 3]

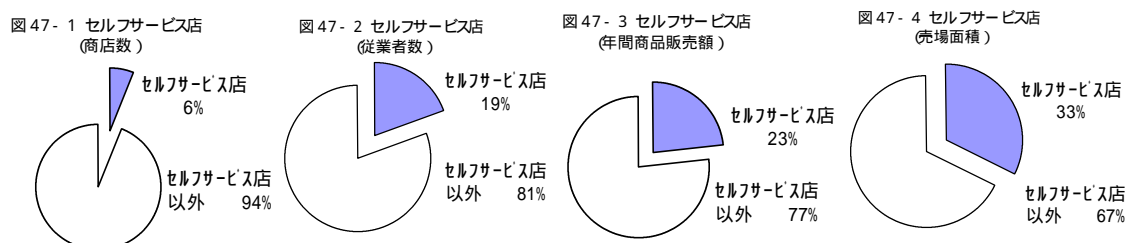


表 20 市別セルフサービス店の商店数等 (単位: 店, 人, 百万円, m²)

区分	セルフサービス店				小売業に占めるセルフサービス店の割合			
	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
総数	2,107	34,404	829,179	1,052,859	6.2	19.5	23.4	32.5
市計	1,618	28,234	683,197	856,825	6.3	19.7	22.8	32.5
町村計	489	6,170	145,982	196,034	6.0	18.3	26.6	32.6
広島市	720	12,848	314,584	362,287	6.6	18.7	20.0	30.1
中区	128	1,963	48,084	46,132	4.6	10.4	8.4	11.8
東区	50	1,077	24,880	25,330	6.3	23.4	29.5	40.8
南区	84	1,464	34,014	38,615	4.6	17.0	21.4	31.3
西区	117	1,869	43,616	51,172	7.0	17.0	17.0	28.9
安佐南区	138	2,539	64,881	80,759	10.2	26.8	33.5	47.0
安佐北区	97	1,802	43,036	56,783	9.0	24.8	31.4	39.6
安芸区	28	481	11,138	14,356	6.0	18.0	24.5	44.2
佐伯区	78	1,653	44,936	49,140	8.5	27.3	36.1	46.7
呉市	130	2,364	50,748	65,420	4.4	17.0	20.4	27.2
竹原市	30	241	5,810	10,187	5.4	10.1	14.6	21.6
三原市	53	861	26,170	29,074	5.0	16.4	25.2	30.0
尾道市	61	999	22,433	29,925	4.2	16.8	22.3	27.3
因島市	31	324	10,689	14,162	5.4	16.8	38.3	40.5
福山市	333	5,658	133,427	188,498	7.4	23.2	26.3	36.6
府中市	27	430	14,483	17,000	4.1	14.6	25.8	26.8
三次市	36	479	15,469	16,209	5.4	14.3	21.0	31.5
庄原市	23	299	8,514	11,864	6.3	20.8	30.0	39.9
大竹市	25	619	9,124	22,227	5.0	26.2	28.4	48.3
東広島市	89	1,794	40,958	55,527	8.9	25.8	29.0	41.1
廿日市市	60	1,318	30,788	34,445	10.8	36.2	43.3	58.1

(4) 売場面積

セルフサービス店の売場面積の小売業全体に占める割合は、32.5%であり、廿日市市（構成比 58.1%）で最も高く、竹原市（構成比 21.6%）で最も低くなっている。[表 20, 図 47 - 4]

9 開店・閉店時間，営業時間

開店・閉店時間別の商店数については、終日営業（1.9%）、不詳（2.5%）を除いて、95.6%に開店・閉店時間がある。

開店時間は、9時台が 29.5%、8時台が 26.2%であり、9時台及び8時台で過半数を超えている。[図 48]

閉店時間は、19時台が 34.5%で最も多く、18時台及び20時台を合わせると 18～20時台で 77.1%を占めている。[図 49]

営業時間別にみると、小売業では、10～12時間営業が全体の 37.9%を占め、最も多くなっている。

図 48 開店時刻別の商店数割合（小売業）

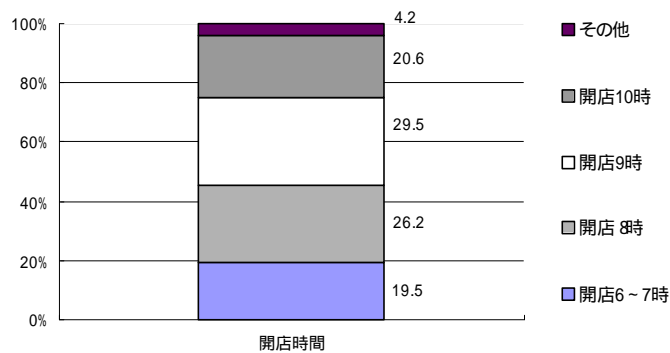
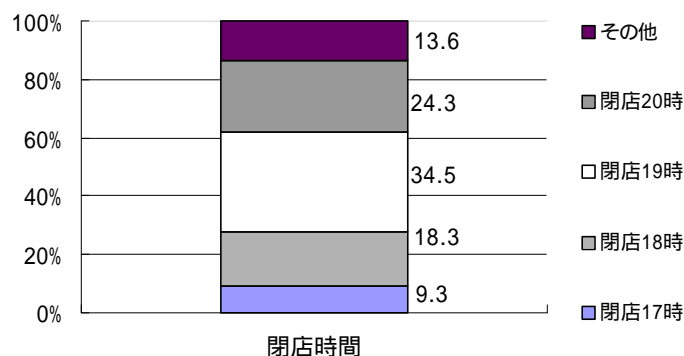


図 49 閉店時刻別商店数割合（小売業）



業種別にみると、各種商品小売業（構成比 46.3%）、織物・衣服・身の回り品小売業（構成比 45.8%）では、8～10時間営業が最も多いが、飲食料品小売業（構成比 35.9%）、自動車・自転車小売業（但し自動車小売分を除く）（構成比 51.6%）、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業（構成比 50.2%）、その他の小売業（構成比 32.4%）では 10～12時間営業が最も多く、特に自動車・自転車小売業及び家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業では過半数を占めている。[表 21]

表 21 業種別、営業時間別商店数 (小売業)

(単位:店,%)

区分	実数	総数	8時間未満	8~10時間	10~12時間	12~14時間	14~24時間	終日営業	不詳
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
小売業	33,892	100.0	1,184	10,000	12,832	6,203	2,183	652	838
		100.0	3.5	29.5	37.9	18.3	6.4	1.9	2.5
54 各種商品小売業	175	100.0	9	81	71	10	4	0	0
		100.0	5.1	46.3	40.6	5.7	2.3	0.0	0.0
55 織物・衣服・身の回り品小売業	4,980	100.0	216	2,279	1,994	420	58	13	0
		100.0	4.3	45.8	40.0	8.4	1.2	0.3	0.0
56 飲食料品小売業	11,629	100.0	473	2,187	4,180	2,986	1,010	501	292
		100.0	4.1	18.8	35.9	25.7	8.7	4.3	2.5
57 自動車・自転車小売業	2,378	100.0	22	896	1,228	202	30	0	0
		100.0	0.9	37.7	51.6	8.5	1.3	0.0	0.0
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	3,304	100.0	65	1,146	1,659	378	50	6	0
		100.0	2.0	34.7	50.2	11.4	1.5	0.2	0.0
59 その他の小売業	11,426	100.0	399	3,411	3,700	2,207	1,031	132	546
		100.0	3.5	29.9	32.4	19.3	9.0	1.2	4.8

10 人口と小売業

平成9年5月末日現在の県内人口は、288万2,259人、小売業商店数は33,892店である。人口1,000人当たりの商店数は11.8店となり、前回調査に比べ、7.4%減となっている。市別にみると、因島市(18.7店)で商店密度が最も高いが、前回調査に比べ2.5%減となっている。

人口1,000人当たりの年間商品販売額については、三次市が1,717万円以最大きく、次いで広島市の1,515万円となっている。

前回調査に比べると、増減率については廿日市市が最も高くなっており(5.1%増)、庄原市が最も低くなっている(13.4%減)〔表22、図50〕

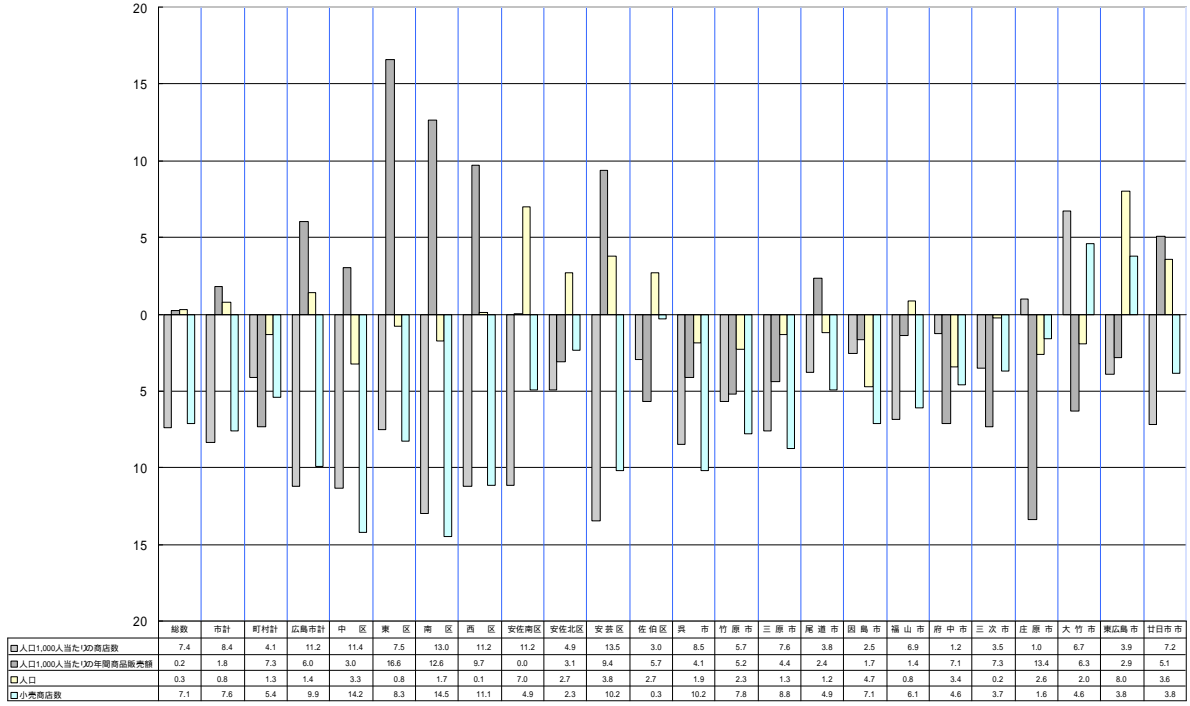
表 22 市別の人口1,000人当たりの商店数等 (小売業)

(単位:店,万円,%)

市区町村名	人口1,000人当たりの商店数			人口1,000人当たりの年間商品販売額			対6年増加率	
	9年	6年	増減率	9年	6年	増減率	人口	小売商店数
総数	11.8	12.7	7.4	1,234	1,231	0.2	0.3	7.1
市計	11.4	12.5	8.4	1,357	1,333	1.8	0.8	7.6
町村計	13.0	13.5	4.1	806	869	7.3	1.3	5.4
広島市計	9.9	11.1	11.2	1,515	1,429	6.0	1.4	9.9
中区	23.2	26.2	11.4	4,889	4,744	3.0	3.3	14.2
東区	6.4	7.0	7.5	805	690	16.6	0.8	8.3
南区	13.4	15.4	13.0	1,330	1,182	12.6	1.7	14.5
西区	9.6	10.8	11.2	1,612	1,470	9.7	0.1	11.1
安佐南区	7.1	8.0	11.2	1,021	1,021	0.0	7.0	4.9
安佐北区	6.9	7.2	4.9	841	867	3.1	2.7	2.3
安芸区	6.3	7.2	13.5	668	611	9.4	3.8	10.2
佐伯区	7.4	7.6	3.0	939	996	5.7	2.7	0.3
呉市	14.1	15.4	8.5	1,143	1,192	4.1	1.9	10.2
竹原市	16.4	17.4	5.7	1,113	1,174	5.2	2.3	7.8
三原市	12.9	14.0	7.6	1,196	1,251	4.4	1.3	8.8
尾道市	15.4	16.0	3.8	1,080	1,055	2.4	1.2	4.9
因島市	18.7	19.2	2.5	898	913	1.7	4.7	7.1
福山市	11.9	12.8	6.9	1,324	1,344	1.4	0.8	6.1
府中市	15.0	15.2	1.2	1,182	1,273	7.1	3.4	4.6
三次市	16.9	17.5	3.5	1,717	1,853	7.3	0.2	3.7
庄原市	16.8	16.6	1.0	1,127	1,302	13.4	2.6	1.6
大竹市	15.2	14.2	6.7	917	978	6.3	2.0	4.6
東広島市	8.8	9.2	3.9	1,216	1,252	2.9	8.0	3.8
廿日市市	7.6	8.2	7.2	1,031	981	5.1	3.6	3.8

図 50 市別従業者 1人当りの年間商品販売額等 (増減率)

(単位 :%)



11 購買力の状況

各市町村の人口と小売業の年間商品販売額をもとに「A 購買力の算式」から購買力を求め、「B 購買力の区分」により類型化すると次のようになっている。

(A 購買力の算式)

県全体に対する「小売業の年間商品販売額の構成比 / 人口の構成比」

(B 購買力の区分)

1.10 以上	「購買力を吸収している地域」,
0.90 以上 1.1 未満	「人口と購買力の均衡がとれている地域」
0.90 未満	「購買力が流出している地域」

「購買力を吸収している地域」は坂町(1.51)、三次市(1.51)など10市町であり、「人口と購買力の均衡がとれている地域」は福山市(1.09)、庄原市(1.06)など14市町であり、「購買力が流出している地域」は尾道市(0.86)など62市町村である。[表23, 図51]

図51 市町村別購買力

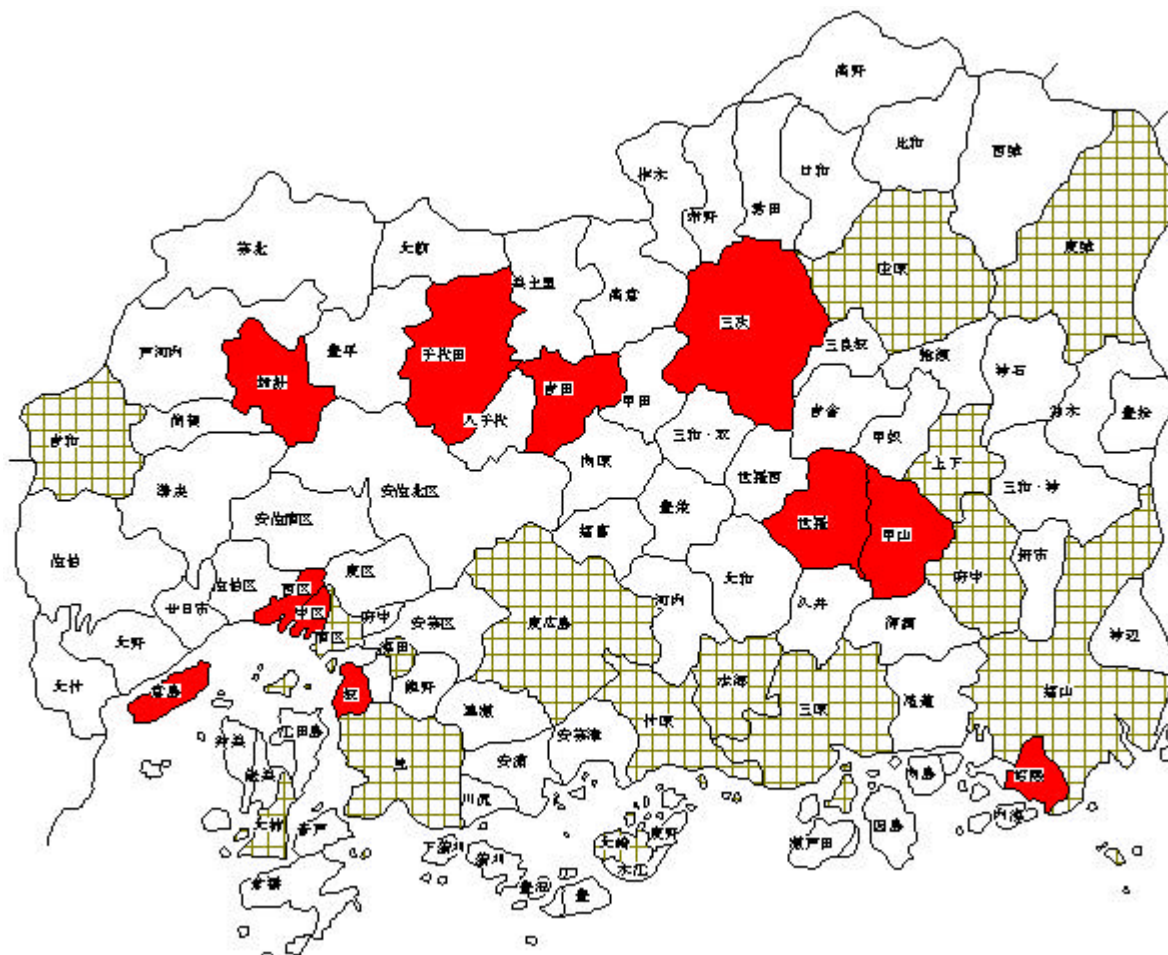


表 23 市区町村別購買力計算表 (小売業)

(単位:人,店,万円,m²,%)

市区町村名	住民総数	小売商店数	年間商品販売額	小売売場面積	人口構成比	年間商品販売額構成比	購買力
総数	2,882,259	33,892	354,879,187	3,236,429	100.00	100.00	1.00
市計	2,251,176	25,714	300,009,436	2,634,528	78.10	84.54	1.08
町村計	631,083	8,178	54,869,751	601,901	21.90	15.46	0.71
広島市計	1,098,810	10,873	156,995,733	1,205,122	38.12	44.24	1.16
中区	119,954	2,783	56,911,976	389,365	4.16	16.04	3.85
東区	122,313	788	8,442,450	62,156	4.24	2.38	0.56
南区	134,613	1,807	15,904,907	123,447	4.67	4.48	0.96
西区	174,576	1,678	25,659,207	177,349	6.06	7.23	1.19
安佐南区	189,998	1,347	19,393,005	171,688	6.59	5.46	0.83
安佐北区	157,877	1,082	13,693,820	143,459	5.48	3.86	0.70
安芸区	74,525	467	4,550,519	32,479	2.59	1.28	0.50
佐伯区	124,954	921	12,439,849	105,179	4.34	3.51	0.81
呉市	208,824	2,948	24,892,880	240,694	7.25	7.01	0.97
竹原市	33,822	555	3,970,906	47,096	1.17	1.12	0.95
三原市	82,956	1,070	10,381,567	96,806	2.88	2.93	1.02
尾道市	95,374	1,468	10,062,635	109,774	3.31	2.84	0.86
因島市	30,561	573	2,788,947	35,000	1.06	0.79	0.74
福山市	377,087	4,484	50,665,386	514,890	13.08	14.28	1.09
府中市	44,028	660	5,603,812	63,484	1.53	1.58	1.03
三次市	39,688	669	7,355,550	51,422	1.38	2.07	1.51
庄原市	21,789	365	2,836,326	29,723	0.76	0.80	1.06
大竹市	32,835	499	3,211,715	46,045	1.14	0.91	0.79
東広島市	112,896	996	14,131,200	135,174	3.92	3.98	1.02
廿日市市	72,506	554	7,112,779	59,298	2.52	2.00	0.80
府中町	50,308	408	4,653,981	40,815	1.75	1.31	0.75
海田町	29,137	296	3,441,424	27,696	1.01	0.97	0.96
熊野町	26,013	202	1,516,052	21,310	0.90	0.43	0.47
坂町	12,641	155	2,353,597	20,413	0.44	0.66	1.51
江田島町	13,133	172	1,016,190	13,511	0.46	0.29	0.63
音戸町	16,486	229	1,070,903	14,213	0.57	0.30	0.53
倉橋町	8,641	157	295,196	7,143	0.30	0.08	0.28
下蒲刈町	3,018	74	135,045	1,584	0.10	0.04	0.36
蒲刈町	3,098	57	x	1,945	0.11	0.05	0.43
大野町	25,928	208	1,745,462	16,580	0.90	0.49	0.55
湯来町	8,459	91	351,587	4,631	0.29	0.10	0.34
佐伯町	13,134	140	827,959	9,665	0.46	0.23	0.51
吉和村	878	19	x	738	0.03	0.03	0.99
宮島町	2,464	103	403,945	6,100	0.09	0.11	1.33
能美町	6,611	98	536,865	6,960	0.23	0.15	0.66
沖美町	4,521	78	x	2,929	0.16	0.06	0.37
大柿町	10,097	162	1,139,204	15,824	0.35	0.32	0.92
加計町	5,042	139	795,997	8,668	0.17	0.22	1.28
筒賀村	1,462	20	57,116	587	0.05	0.02	0.32
戸河内町	3,581	63	176,660	2,721	0.12	0.05	0.40
芸北町	3,323	47	x	2,737	0.12	0.07	0.62
大朝町	3,662	59	297,158	2,940	0.13	0.08	0.66
千代田町	10,761	172	1,728,926	15,416	0.37	0.49	1.30
豊平町	4,908	70	x	3,862	0.17	0.08	0.46
吉田町	11,778	165	1,675,178	20,819	0.41	0.47	1.16
八千代町	4,487	50	336,430	2,985	0.16	0.09	0.61
美土里町	3,795	54	x	2,204	0.13	0.07	0.52
高宮町	4,787	59	292,726	2,266	0.17	0.08	0.50
甲田町	6,119	89	570,429	7,426	0.21	0.16	0.76
向原町	5,229	79	369,834	4,306	0.18	0.10	0.57
黒瀬町	24,472	195	2,109,290	19,701	0.85	0.59	0.70
福富町	2,974	40	135,952	1,959	0.10	0.04	0.37
豊栄町	4,781	81	478,473	6,859	0.17	0.13	0.81
大和町	7,930	112	562,212	5,808	0.28	0.16	0.58
河内町	7,381	103	354,657	6,473	0.26	0.10	0.39
本郷町	11,360	128	1,264,031	10,022	0.39	0.36	0.90
安芸津町	12,935	195	1,088,140	13,012	0.45	0.31	0.68

(表 23 つづき)

安 浦 町	13,637	155	711,394	12,093	0.47	0.20	0.42
川 尻 町	10,780	144	687,451	7,984	0.37	0.19	0.52
豊 浜 町	2,503	57	x	2,732	0.09	0.04	0.45
豊 町	3,416	84	330,897	3,438	0.12	0.09	0.79
大 崎 町	4,658	99	524,205	7,088	0.16	0.15	0.91
東 野 町	3,228	55	216,153	3,025	0.11	0.06	0.54
木 江 町	3,155	78	176,492	2,799	0.11	0.05	0.45
瀬戸田町	10,291	167	931,782	11,512	0.36	0.26	0.74
御 調 町	8,360	108	656,295	8,747	0.29	0.18	0.64
久 井 町	5,932	73	370,538	4,043	0.21	0.10	0.51
向 島 町	17,710	210	1,403,109	18,584	0.61	0.40	0.64
甲 山 町	7,465	141	1,057,382	11,889	0.26	0.30	1.15
世 羅 町	9,248	137	1,403,405	10,670	0.32	0.40	1.23
世羅西町	4,520	74	x	4,332	0.16	0.08	0.48
内 海 町	3,689	55	107,784	2,094	0.13	0.03	0.24
沼 隈 町	13,397	142	2,002,486	10,657	0.46	0.56	1.21
神 辺 町	40,894	365	3,710,731	43,493	1.42	1.05	0.74
新 市 町	22,793	278	1,765,060	17,275	0.79	0.50	0.63
油 木 町	3,495	71	240,770	3,103	0.12	0.07	0.56
神 石 町	3,232	47	131,132	2,112	0.11	0.04	0.33
豊 松 村	2,043	41	x	1,559	0.07	0.04	0.61
三 和 町	4,851	82	406,521	3,809	0.17	0.11	0.68
上 下 町	6,420	128	766,758	10,021	0.22	0.22	0.97
総 領 町	1,956	26	55,492	836	0.07	0.02	0.23
甲 奴 町	3,509	47	x	2,766	0.12	0.05	0.43
君 田 村	2,062	16	x	561	0.07	0.02	0.22
布 野 村	2,137	26	x	1,344	0.07	0.02	0.30
作 木 村	2,135	36	x	1,225	0.07	0.02	0.28
吉 舎 町	5,437	95	367,292	5,225	0.19	0.10	0.55
三良坂町	4,303	84	375,546	4,009	0.15	0.11	0.71
三 和 町	4,126	64	315,182	3,513	0.14	0.09	0.62
西 城 町	5,341	95	422,233	5,291	0.19	0.12	0.64
東 城 町	11,170	207	1,239,515	15,984	0.39	0.35	0.90
口 和 町	2,864	48	x	1,989	0.10	0.04	0.44
高 野 町	2,679	32	237,417	1,785	0.09	0.07	0.72
比 和 町	2,313	42	x	1,486	0.08	0.03	0.42

住民総数は、9年5月末現在である。

第4 大規模小売店舗内の小売業

1 概要

第1種大規模小売店舗内の小売業の商店数 1,831 店のうち 713 店（構成比 38.9%）は広島市にあり，次いで福山市 328 店（構成比 17.9%），呉市 168 店（構成比 9.2%）となっている。

従業者数及び年間商品販売額についても同様の傾向がみられ，特に広島市の年間商品販売額に占める割合は 51.8%と県内の過半数を占めている。[表 24]

第2種大規模小売店舗内の小売業商店数 866 店のうち 473 店（構成比 54.6%）が広島市に集中し，従業者数及び年間商品販売額についても県内の過半数を占めている。[表 25]

年間商品販売額規模別にみた場合，第1種大規模小売店舗内小売業の商店数は，「5,000 万円未満」規模が 734 店で最も多く，「5,000 万円以上 1 億円未満」規模は 578 店となっている。[図 52]

第2種大規模小売店舗内小売業の商店数は，「1 億円以上 10 億円未満」が 324 店で最も多く，次に「5,000 万円未満」規模が 282 店となっている。[図 52]

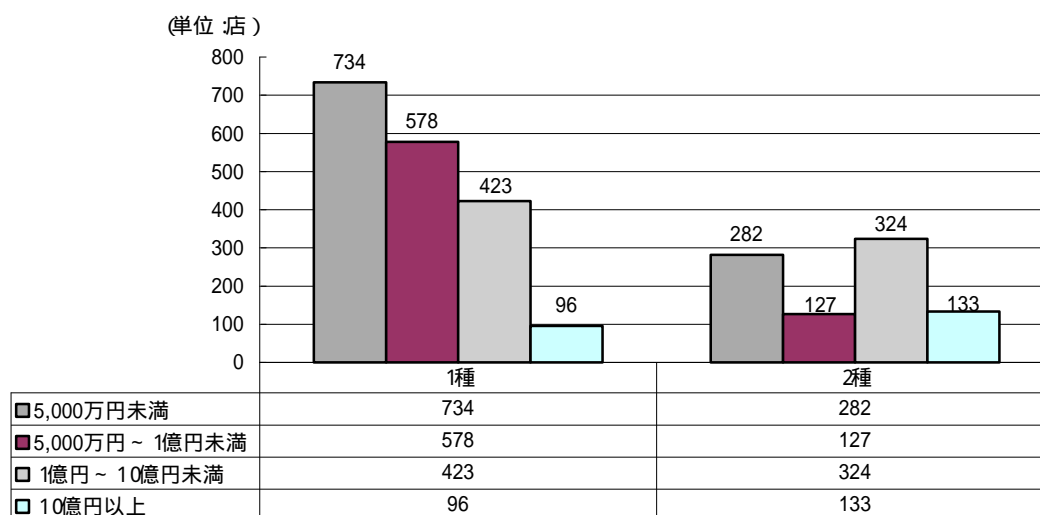
表 24 市別第1種大規模小売店舗内の商店数等（小売業）（単位：店，人，百万円，m²，%）

市区町村名	商店数		従業者数		年間商品販売額		売場面積	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	1,831	100.0	22,437	100.0	735,582	100.0	862,024	100.0
市計	1,633	89.2	19,902	88.7	671,927	91.3	772,084	89.6
町村計	198	10.8	2,535	11.3	63,655	8.7	89,940	10.4
広島市	713	38.9	9,257	41.3	380,901	51.8	365,592	42.4
中区	361	19.7	5,280	23.5	267,282	36.3	203,165	23.6
東区	-	-	-	-	-	-	-	-
南区	31	1.7	324	1.4	9,434	1.3	12,746	1.5
西区	103	5.6	1,063	4.7	38,727	5.3	54,885	6.4
安佐南区	82	4.5	1,038	4.6	24,313	3.3	35,055	4.1
安佐北区	98	5.4	1,130	5.0	30,802	4.2	45,104	5.2
安芸区	-	-	-	-	-	-	-	-
佐伯区	38	2.1	422	1.9	10,343	1.4	14,637	1.7
呉市	168	9.2	1,796	8.0	50,670	6.9	65,468	7.6
竹原市	12	0.7	310	1.4	8,425	1.1	11,140	1.3
三原市	52	2.8	536	2.4	18,304	2.5	23,551	2.7
尾道市	43	2.3	508	2.3	13,658	1.9	21,361	2.5
因島市	-	-	-	-	-	-	-	-
福山市	328	17.9	3,864	17.2	121,709	16.5	173,447	20.1
府中市	27	1.5	347	1.5	9,498	1.3	13,656	1.6
三次市	64	3.5	383	1.7	12,216	1.7	11,096	1.3
庄原市	39	2.1	340	1.5	8,502	1.2	10,552	1.2
大竹市	39	2.1	510	2.3	2,279	0.3	19,551	2.3
東広島市	109	6.0	1,304	5.8	28,737	3.9	42,749	5.0
廿日市市	39	2.1	747	3.3	17,029	2.3	13,921	1.6

表 25 市別第 2 種大規模小売店舗内の商店数等 (小売業) (単位: 店, 人, 百万円, m², %)

市区町村名	商店数		従業者数		年間商品販売額		売場面積	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	866	100.0	13,965	100.0	371,106	100.0	466,108	100.0
市計	716	82.7	11,928	85.4	319,712	86.2	397,732	85.3
町村計	150	17.3	2,037	14.6	51,395	13.8	68,376	14.7
広島市	473	54.6	7,341	52.6	188,820	50.9	223,160	47.9
中 区	56	6.5	1,212	8.7	34,643	9.3	28,287	6.1
東 区	36	4.2	638	4.6	14,919	4.0	16,299	3.5
南 区	168	19.4	1,277	9.1	29,094	7.8	25,940	5.6
西 区	62	7.2	1,055	7.6	27,463	7.4	32,308	6.9
安佐南区	54	6.2	1,072	7.7	29,310	7.9	47,044	10.1
安佐北区	40	4.6	926	6.6	22,426	6.0	34,503	7.4
安芸区	10	1.2	159	1.1	4,593	1.2	7,528	1.6
佐伯区	47	5.4	1,002	7.2	26,371	7.1	31,251	6.7
呉 市	45	5.2	781	5.6	20,423	5.5	30,752	6.6
竹原市	3	0.3	37	0.3	1,419	0.4	1,763	0.4
三原市	17	2.0	396	2.8	14,999	4.0	13,394	2.9
尾道市	11	1.3	309	2.2	8,749	2.4	9,226	2.0
因島市	12	1.4	197	1.4	5,099	1.4	7,908	1.7
福山市	71	8.2	1,581	11.3	40,397	10.9	51,003	10.9
府中市	12	1.4	166	1.2	5,438	1.5	12,289	2.6
三次市	12	1.4	141	1.0	4,981	1.3	5,675	1.2
庄原市	4	0.5	28	0.2	1,001	0.3	2,859	0.6
大竹市	5	0.6	120	0.9	3,881	1.0	3,351	0.7
東広島市	30	3.5	431	3.1	15,173	4.1	22,042	4.7
廿日市	21	2.4	400	2.9	9,331	2.5	14,310	3.1

図 52 年間商品販売額規模別商店数 (大規模店舗内)



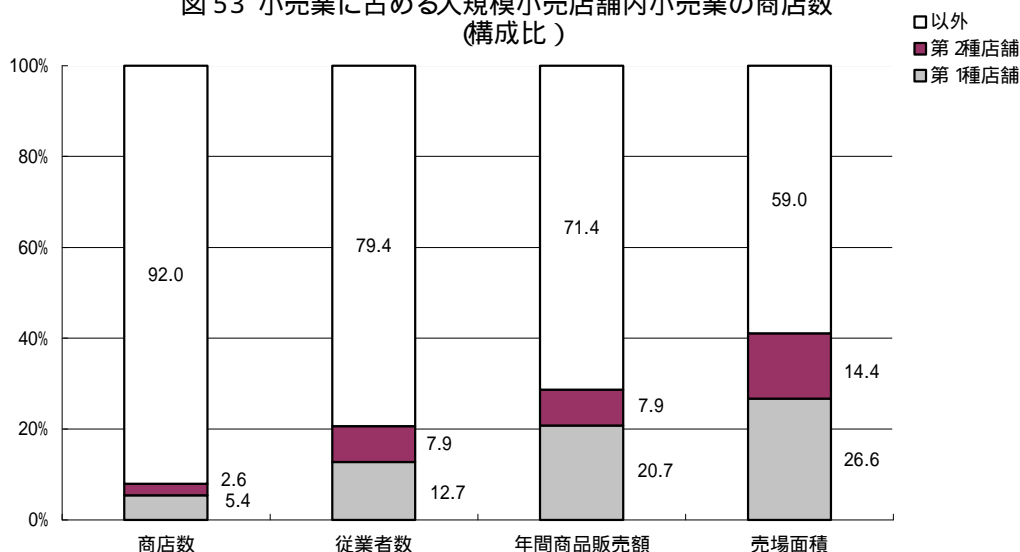
2 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業

小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の県全体に占める割合は、商店数 8.0%、従業者数 20.6%、年間商品販売額 31.2%、売場面積 41.0%となっている。[表 26, 図 53]

表 26 小売業に占める大規模小売店舗内商店の割合 (業種別) (単位 :%)

区分	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
小売業	8.0	20.6	31.2	41.0
54 各種商品小売業	39.4	93.3	94.4	97.0
55 織物・衣服・身の回り品小売業	18.1	27.2	37.4	33.9
56 飲食料品小売業	7.0	20.2	29.0	29.4
57 自動車・自転車小売業	0.5	1.1	0.7	4.1
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	4.1	19.4	32.8	42.7
59 その他の小売業	6.6	8.1	12.4	21.3

図 53 小売業に占める大規模小売店舗内小売業の商店数 (構成比)



3 業種別の概要

大規模小売店舗内の小売業を業種別にみると、商店数では、各種商品小売業が 39.4%で最も多く、次いで織物・衣服・身の回り品小売業が 18.1%を占めており、この2業種で過半数を占めている。[表 26]

年間商品販売額規模別では、「5,000万円未満」規模の商店が小売業の 37.7%を占め最も多く、業種別には、飲食料品小売業(構成比 41.4%)、その他の小売業(40.2%)及び織物・衣服・身の回り品小売業(39.0%)で「5,000万円未満」規模の商店の占める割合が高くなっている。[表 27]

各種商品小売業では、年間商品販売額の 92.8%が「10億円以上」規模の商店で占められている。

表 27 大規模小売店舗内商店の年間商品販売額規模別商店数 (業種別)

区分	総数		5,000万円未満		5,000万円以上 10億円未満		10億円以上			
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比		
小売業	2,697	100.0	1,016	37.7	705	26.1	747	27.7	229	8.5
54 各種商品小売業	69	100.0	1	1.4	1	1.4	3	4.3	64	92.8
55 織物・衣服・身の回り品小売業	903	100.0	352	39.0	338	37.4	209	23.1	4	0.4
56 飲食料品小売業	819	100.0	339	41.4	126	15.4	241	29.4	113	13.8
57 自動車・自転車小売業	11	100.0	2	18.2	1	9.1	7	63.6	1	9.1
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	136	100.0	17	12.5	21	15.4	71	52.2	27	19.9
59 その他の小売業	759	100.0	305	40.2	218	28.7	216	28.5	20	2.6

図 54 小売業に占める大規模小売店舗内小売業の業種別構成比 (商店数)

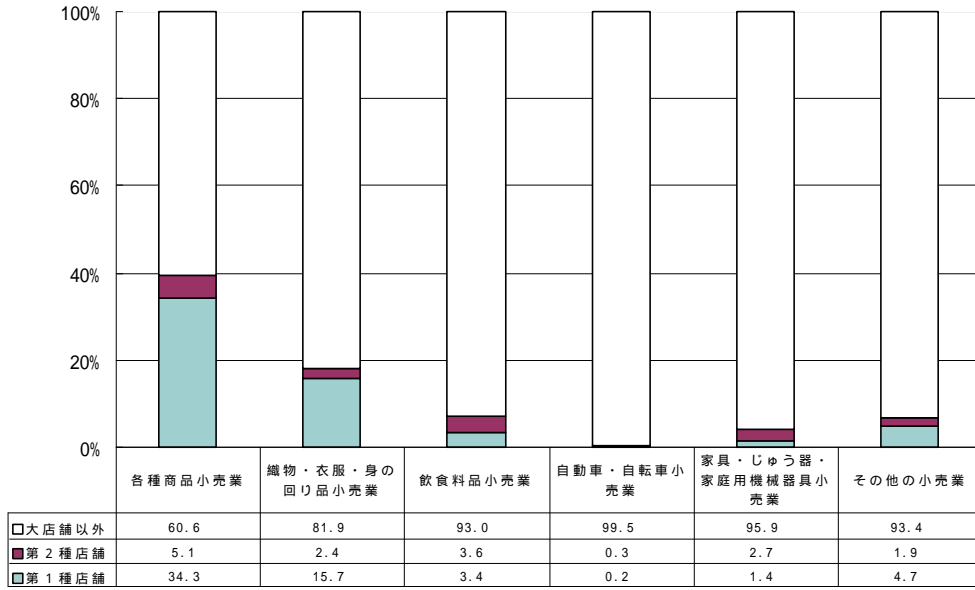


図 55 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の業種別構成比 (従業員数)

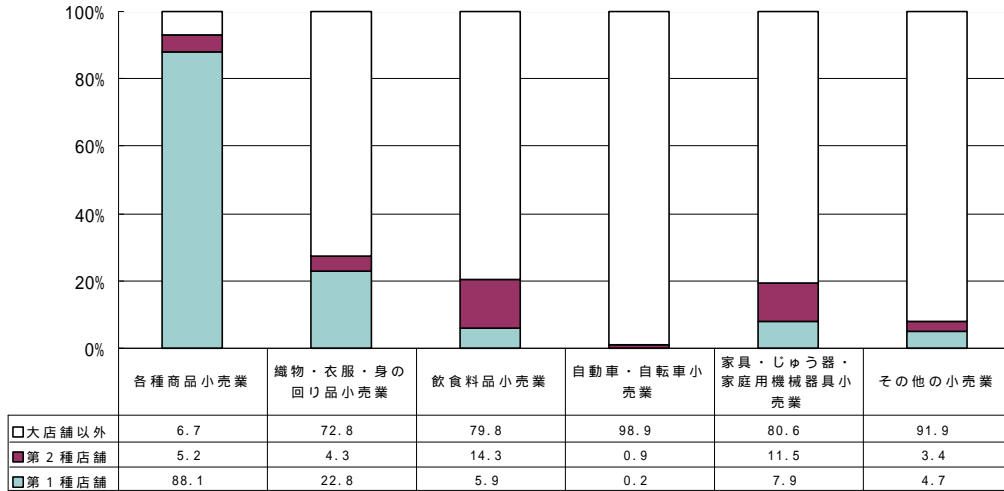


図 56 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の業種別構成比 (年間商品販売額)

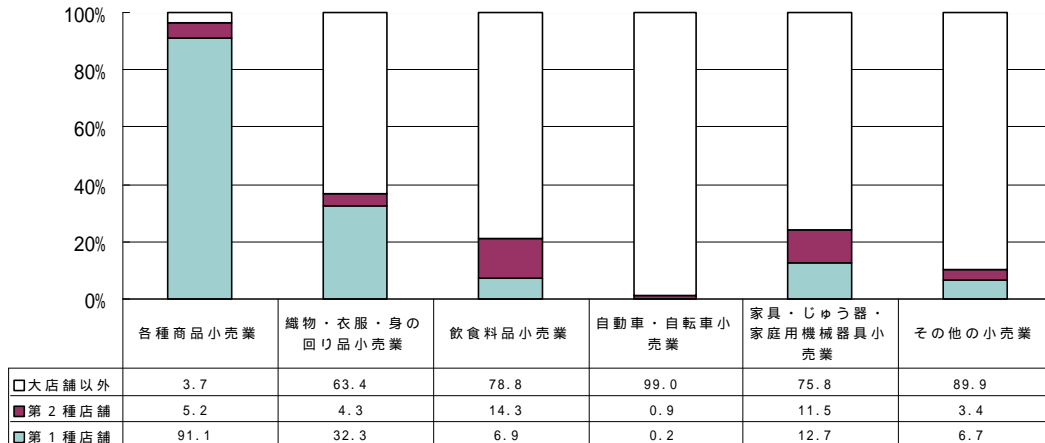
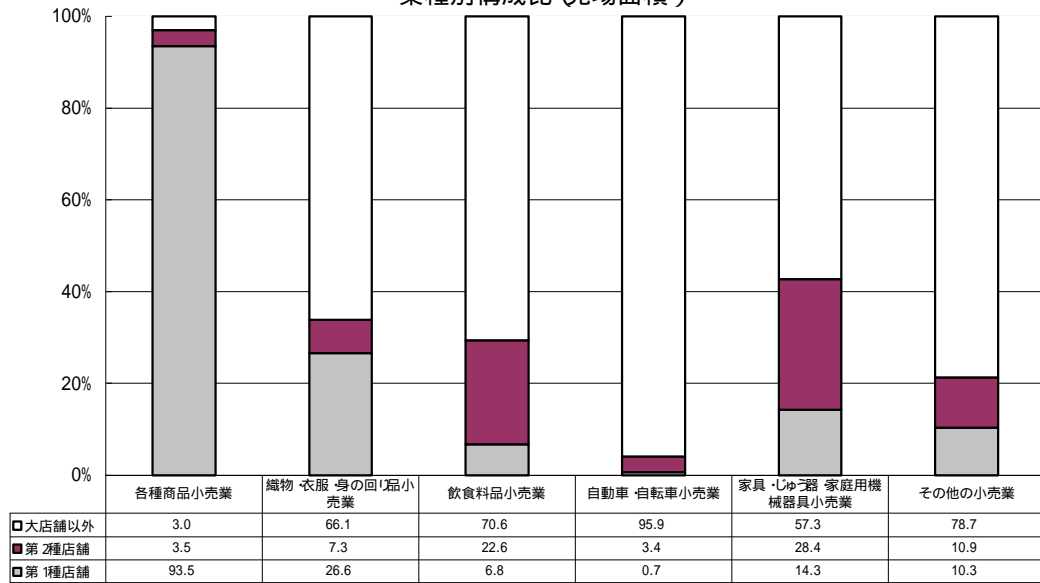


図 57 小売業に占める大規模小売店舗内の小売業の業種別構成比(売場面積)



4 販売効率

大規模小売店舗内の小売業とそれ以外の小売業の販売規模を比較すると、商店1店当たりの年間商品販売額では、1種40,174万円、2種42,853万円、それ以外が7,829万円であることから、大規模小売店舗内小売業の商店1店当たりの年間商品販売額はそれ以外の小売業の商店1店当たりの年間商品販売額の5倍を超えている。

従業者1人当たりの年間商品販売額では、第1種3,278万円、第2種2,657万円であり、それ以外の小売業が1,740万円であり、大規模小売店舗内小売業はそれ以外の小売業の従業者1人当たりの年間商品販売額の1.5倍を超えている。[表28]

表 28 大規模小売店舗内商店の1店当たり年間商品販売額等(業種別) (単位:万円,%)

区 分	1店当たり年間商品販売額			1人あたり年間商品販売額		
	1種	2種	以外	1種	2種	以外
小売業	40,174	42,853	7,829	3,278	2,657	1,740
54 各種商品小売業	784,818	186,478	27,347	4,170	2,539	3,363
55 織物・衣服・身の回り品小売業	11,916	12,376	4,442	2,537	2,104	1,542
56 飲食料品小売業	17,549	52,782	6,604	1,885	2,468	1,420
57 自動車・自転車小売業	15,415	47,716	21,287	2,486	2,169	3,335
58 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	84,419	68,692	6,497	3,606	3,923	1,865
59 その他の小売業	11,491	23,846	7,578	2,333	2,785	1,575